WebAgentPlus マニュアル (教師用)

Ver.008~(2024.12.18~4:08pm)

目次

1		「教師」レベルの操作	1
	1.1	教師の作業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	1.2	「ユーザ」に割り振られるコース内の「役割」	1
2		アクセス用 URL	2
3		ログイン操作	2
	3.1	ログイン	2
	3.2	コース選択	3
	3.2.	.1 お知らせ作成 (任意)	7
4		教師メニュー	8
	4.1	ユーコムジャンル管理	9
	4.2	テスト作成:サブシステム「ユーテス (YuTes)」..........	10
	4.2.	.1 特徵	10
	4.2.	.2 取り扱うファイル種 (概略)	11
	4.2.	.3 「ユーテス (YuTes)」で作成可能なテスト問題形式 (概略)	11
	4.	2.3.1 【選択問題 (単項)】	12
	4.	2.3.2 【選択問題 (複項)】	12
	4.	2.3.3 【選択補充問題】	13
	4.	2.3.4 【記述問題】	13
	4.2.	.4 「ユーテス (YuTes)」の操作方法	13
	4.	2.4.1 ベースファイルの編集に関する基本情報	14
	4.	2.4.2 ベースファイル編集の際の入力方法	16
	4.	2.4.3 問題形式、選択肢等を増やしたい場合	22
	4.2.	.5 編集作業の実例 (1)	25
	4.	2.5.1 【選択問題 (単項)】作成	25
	4.	2.5.2 【選択問題 (複項)】作成	27
	4.	2.5.3 ファイルの保存	28
		4.2.5.3.1 「別名保存」の方法	28
		4.2.5.3.2 「チェック&テスト変換」	32

4.2.5.4	動作確認のためのテスト受験36
4.2.5.5	テスト問題 (練習問題も含む) の編集
4.2.5.5.1	【テスト問題一覧】の表示
4.2.6 編集作	乍業の実例 (2)
4.2.6.1	【選択補充問題】の作成 38
4.2.6.1.1	選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式:DDL 形式) . 38
4.2.6.1.2	選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式:DDL 形式)
	の問題内容の入力 40
4.2.6.1.3	空所補充形式 (穴埋め問題形式)
4.2.6.1.4	空所補充形式の問題内容の入力
4.2.6.2	【記述問題】の作成 48
4.2.6.2.1	記述問題における「教師採点」の方法 51
4.2.7 編集排	操作の軽減について 53
4.2.7.1	【保存·設定等の領域】における各種機能ボタン 53
4.2.7.1.1	【上書き保存】 53
4.2.7.1.2	【別名保存】 53
4.2.7.1.3	【チェック&テスト変換】53
4.2.7.1.4	【総配点】:自動配点と固定配点
4.2.7.1.5	≪固定配点の仕組み≫ 54
4.2.7.2	【編集作業領域】における各種機能ボタン 58
4.2.7.2.1	【ファイルの再読込】
4.2.7.2.2	【ファイル一覧へ】
4.2.7.2.3	【各種編集用アイコン】
4.2.7.3	【パーツ表示】ボタン 60
4.2.8 ファー	イルの共有操作
4.2.8.1	ベースファイルの共有操作.........................61
4.2.8.2	テスト問題ファイルの共有操作62
4.3 テスト受け	
4.3.1 テス	ト受験の手順
4.4 成績関連	
4.4.1 採点約	結果の確認
4.4.2 平均,	点一覧
4.5 教材関連	

4.5	.1	ファイル名	70
4.5	.2	【編集】	70
4.5	.3	削除	71
4.5	.4	新規教材登録	71
4.6	一斉	メール送信	73
4.6	.1	「一斉メール送信」の選択	73
4.6	.2	送信先メールアドレスの選択	75
4.6	.3	メールアドレスの管理等	76
4.7	メン	バー関連	77
4.7	.1	入退室一覧	77
4.7	.2	履修者一覧 (コース内のメンバーの役割変更)	78
5	パワ	——教師	80
5	()))=		21
5.1	(お話		31

私的メモ欄:

1 「教師」レベルの操作

教師レベルの操作を行うには、管理者等から、予め、特定のコース (クラス) にて**教師の** 役割が付与された「ユーザ名」と「パスワード」を取得する必要がある。

因みに、通常、「ユーザ名」は「個別のメールアドレス」であり、「パスワード」は当初 この「個別のメールアドレス」と同一である^{*1}。

1.1 教師の作業内容

当該コース (クラス) に対して教師権限の割り振られた「ユーザ」、すなわち「教師」は、 当該コースの管理 (テスト作成、成績管理、教材管理、出席管理等々)を担う。

因みにコースの「作成」は、「教師」ではなく「管理者」が担う。管理者は、別途装備さ れている「管理用マニュアル」に従い、予め、コース作成以外、ユーザ作成、履修登録等 を行っておく必要がある。

1.2 「ユーザ」に割り振られるコース内の「役割」

予め、管理者レベルで、どの「ユーザ」がどの「クラス」を履修するか (「履修登録」) 等々、設定されているものとする。

各履修コース内では、「ユーザ」に6種の「役割」、すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「教師」、「パワーユーザ」、「パワー TA」、「パワー教師」のいずれかが割り振られる (デフォルトで割り振られている「役割」は「一般ユーザ」)。

当該コースの「教師*²」は、コース内の各「ユーザ」に対して、個別に、4種の「役割」、 すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「パワーユーザ」、「パワー TA」のいずれかを、随時、割 り振る (変更する)事ができる。

また、当該コースの「パワー教師」^{*3}となっている場合は、コース内の「ユーザ」に、5 種の「**役割**」、すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「パワーユーザ」、「パワー TA」、「教師」 のいずれかを、随時、割り振る (変更する) 事ができる。

^{*1} ただし、初回のログイン時のみ、強制的にパスワードの変更が促され、かつ、パスワードを変更した旨、 当該「個別のメールアドレス」に通知される。

^{*&}lt;sup>2</sup> 教師の役割は、管理者による「履修登録」時に設定されている筈。何も役割設定されていない場合は、役 割はデフォルトの「一般ユーザ」となり、本マニュアルの「教師レベルの操作」も実行できない。

^{*3 「}パワー教師」は管理者レベルでのみ設定可能。

2 アクセス用 URL

他所で既に記述しており、重複するが、重要と思われるので再掲する。 本システム関連のアクセス用 URL には、

1. お試し版用 URL

http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKen/Home/WebApTrial

- 2. 本体システム (WebAP) 用 URL http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKen/
- 3. 本体システムのホームページ用 URL http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKenHome/

の3種がある。

現在閲覧中のこの「教師用」マニュアル以外、「ユーザ用」、「管理者用」、「お試し版用」 があり、これらは、上記、本体システムのホームページ用 URL(P.2 項目 3) からダウン ロード可能であるが、本システム内に【詳細マニュアル】の表示関連が適宜配置されてい るため、敢えてダウンロードする必要はない。

なお、「管理者用」マニュアルのみは、申請に応じて提供可能となっている。

3 ログイン操作

管理者が「管理者用」マニュアルに従い、既に「コース作成」、「ユーザ登録」、「履修登録」を終えているものとする。また、今閲覧しているこのマニュアルは、「教師用」マニュアルなので、閲覧者は、管理者により、いずれかのコース(クラス)に「教師の役割」で既に履修登録されているものとする。

3.1 ログイン

管理者から、当該ユーザの「ユーザ名」と「パスワード」を取得し、本体システム用 URL(P.2 項目 2) をブラウザのアドレス欄に入力し、ログイン画面を表示させる。

	→] ログイン画面
	<u>ログイン操作</u> :「 <mark>▲</mark> ユーザ名」と「 <mark>→</mark> パスワード」を入力し、以下の ログイン ボタンをクリックして下さい。(ログイン出来ない場合 <mark>?</mark>) 注意事項】
Ŀ	-ザ名
⇒⊐	ーザ名を入力して下さい
R	スワード □ 表示
⇒ /	スワードを入力して下さい
記	憶しますか?
][עלע
8	<u>『スワード忘れ</u> : パスワードを忘れた場合 は「ユーザ名」が入力されている事を確認の上、以下の <mark>パスワード再発行</mark> 」ボタンをクリックして下さい。
	パスワード再発行

図 1: ログイン画面

「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックすると、「ユーザ ホーム画面」が表示される。

注意:初回のログイン時のみ、セキュリティ上の理由から、「ユーザホーム画面」ではな く、「パスワード変更画面」が表示されるので、新パスワードを入力後、「変更」ボタンを クリックする。詳細は、「ユーザ用」マニュアルの「1.2 ログイン操作の具体的な手順」を 参照されたい。

3.2 コース選択

「ユーザホーム画面」にて「登録済みコース一覧」が表示される。

<u>ログイン画面</u> > <u>ユーザホーム画面</u>		
ユーザホーム画面		
1 注意:以下の「登録済コース一覧」から希望の「コース名」をクリック・選択して下さい。		
2 登録済コース一覧		
CID J-ス名 曜日 時限	役割	氏名
3 <u> メートーン メー </u>	P-教師	反骨の背枕
7	P-教師	反骨の背枕
8 <u>よれこうべの会</u> Sun 6	一般ユーザ	反骨の背枕

© 2024 - WebAP

図 2: 「ユーザホーム画面」内の登録済コース一覧

「役割」欄にて、当該ユーザが「教師」または「パワー教師 (P-教師)」として登録され ている事を確認する。

なお、「コース名」右横に、「新着:N個」と表示されている場合、当該コースのコミュ ニケーションツール「ユーコム (YuCom)」に、当該ユーザが最後に「ユーコム」を離れ た日時以降に、他のユーザにより作成されたメッセージ群がN個存在する事を意味する。

さて、ここで希望のコース (ここでは例として「哲学教室」) を選択すると、「... へよう こそ」画面が表示される。

	<u></u>			∃ 1 <i>1</i> ,[2001]		
ログイン画面 > ユーザホーム画	直 > 哲学教室					
		≪哲学教室≫ へ。	いってそ			
験」→「テスト問題一覧 <u>教師メニュー</u>:上部の 成」→「ペースファイルー 注意:スマホ等、画面 	〕、あるいは、コミュニケ- ☆ 教師メニュー をクリ ・覧」、「成績関連」、「考 町幅が狭い場合は、左対	ーションシステム「 ¹⁰⁰ 1ユーコム(Y 」ックすると、サブメニューが表示 炎材関連」等々を選んで下さし 業 トゥローバンバーザーメニュー」	uCom)」、「教材関連」、「 されますので、このサブメニュ い。	成績関連」 から、希: 	等々を選んで下 望の項目、例え	「さい。 .ば、「テスト作 _ ザッニュ_ が
表示され、ここから例え ●【詳細マニュアル】の表示	.ば、「 ᅇ ユーコム(YuCo 示関連	m エ mic ハンハ カ メニュ 」 om)」を選択して下さい。	か 衣 示 されま 9 の で、	C102797	799C 📜 I	
表示され、ここから例え ② 【詳細マニュアル】の表示 新規作成(お知らせ) 表示件数:0件(お知らせは	ば、「 (*** ユーコム(YuCo <u>示関連</u> 1:現在ありません)	m エーロドバイバイ ガーシーユー om)」を選択して下さい。		_112/9/	ν9 ος ,<u>−</u> ⊥	
表示され、ここから例え ●【詳細マニュアル】の表示 新規作成(お知らせ) 表示件数:0件(お知らせは)	ば、「 1⁹1 – J – J ム (YuCo <u>示開連</u> は現在ありません)	m エ m)に ハンハ ガ メニュ 」 om)」を選択して下さい。 ≪お知らせ≫			7992. IE 1	
表示され、ここから例え ●【詳細マニュアル】の表示 新規作成(お知らせ) 表示件数:0件(お知らせは 主題	は、「 🖘 ユーコム(Yuco <u>示開連</u> 現在ありません) 本文	∞ エロルビハンハ ガ メニュ 」 om)」を選択して下さい。 ≪お知らせ≫		日時	^{29 a} C、 :二 ⊥ 役割	MID
表示され、ここから例え ●【詳細マニュアル】の表示 新規作成(お知らせ) 表示件数:0件(お知らせは 主題	は、「 (** ユーコム(YuCo <u>示開連</u> は現在ありません) 本文	m ⊥ m)に バンバ ガ メニィ」 om)」を選択して下さい。 ≪お知らせ≫ お知らせは現在あり	一 かる小されよりので、	日時	クリるこ = 1	MID

図 3: 「...へようこそ」 画面 (1)

この画面には、「【詳細マニュアル】の表示関連」があり、本システムの詳細なマニュ アルを簡単に表示させる事が可能なので、操作に不慣れなユーザは是非活用されたい。具 体的に、「【詳細マニュアル】の表示関連」をクリック (トグル形式) すると、以下のよう に、非表示となっていたメッセージが展開される。

NebAP	🔁 ユーザホーム	:: 1-47822	🛟 教師メニュー 🕶		▲ 反骨の背枕[2081]	睂 パスワードの変態	■ 〔→ ログアウト					
ログイン画面	> <u>ユーザホーム画</u> 面	2 > 哲学教室										
≪哲学教室≫ へようこそ												
 ③ ユーザメニュー: 上部の 資 ユーザメニューをクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト受験」→「テスト問題一覧」、あるいは、コミュニケーションシステム「 ◎ ユーコム(YuCom)」、「教材関連」、「成績関連」等々を選んで下さい。 ③ 救師メニュー: 上部の ふ 教師メニューをクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト作成」→「ベースファイルー覧」、「成績関連」「教材関連」等々を選んで下さい。 ③ 注意: スマホ等、画面幅が狭い場合は、左端上部に「ハンバーガーメニュー」 が表示されますので、これをクリックすると、デニューザメニューが 表示され、ここから例えば、「 ◎ ユーゴム(YuCom)」を選択して下さい。 ○ 【詳細マニュアル」の表示関連 1. 【詳細マニュアル」の表示関連 1. 【詳細マニュアル」の提携: 詳細マニュアルには、「ユーザ用マニュアル(一般ユーザ、学生向け)」、「教師用マニュアル」」を見ながら、本システムを操作する事をお薦めする。 2. 表示の手順(1): 以下の「教師用マニュアル」ボタンをクリックすると、ブラウザの最上部に、「新規タブ」として、「教師用マニュアル」のページが追加される。 3. 表示の手順(2): このタブをドラッグして、分離すれば、本システムのページとこの「教師用マニュアル」のページを同時に2つのウインドウで閲覧 可能となる。これにより、この詳細マニュアルの記述内容に従って、正確に本システムを操作する事が可能となる。なお、教師の場合は、 「ユーザ用マニュアル」 ユーザ用マニュアル 新規作成(お知らせ) 表示件数: o)((1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1												
			< お:	知らせ≫								
	主題	本文			日時	役割 MII)					
			お知らせは	現在ありません								

図 4: 「...へようこそ」 画面 (2)

ここでは、「詳細マニュアル」表示の操作手順が明記されているが、「詳細マニュアル」を パソコン等の画面の一部に表示させたまま、本システムの操作が可能となる。なお、教師 の場合は、「教師用マニュアル」以外、「ユーザ用マニュアル」も併記して明示される。

以下は、「詳細マニュアル」表示の操作手順に従い、ブラウザの「新規タブ」に表示さ れた「教師用マニュアル」をドラッグで分離し、本システムの(例えば)右横に並べた結果 である。

▲ WebAP 谷ユ-ザホーム 三 ユーザメニュー・ な 放锅メニュー・	Ξ WebAP_Manual_Teacher.pdf 1 / 55 − 100% + 🗄 δ)
<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室</u>	
≪哲学教室≫ へようこそ	
 ● ユーザメニュ_: 上部の 詳二・ザメニュ をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト完美 (サ)・「テスト問題 ― 賢」、あるいは、ゴミニフーションシステム(ペローコム(YuCom)」、「数材開通」」、「広議問題」等々を選んで下さい、 ● 2000年、二: 上部の (予約51.2 - をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト作 成」・「バースファイルー覧」、「広議開通」、「数状開通」等々を選んで下さい。 ● 2011年、このサウストリーン(小学校)・プターン(アレーの)、「登録用マニュアル」(小学校)・プターン(アレー)、 ● 111日本、「ジーの)、「ジーロー)、「ジーロ」、「シーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、「ジーロ」、	WebAgentPlus マニュアル (教師用)
新規作成(5丸152) オニ/生物、0/f (か知ってけた理力を1(ませく))	
■ (4) べちとはるでエのジムビハリ) 《お知らせ》	

図 5: 「詳細マニュアル」を右横に並べた画面

3.2.1 お知らせ作成(任意)

当該コースのメンバー向け、図3の「ようこそ画面」の下部に、お知らせ(無ければ「お知らせは現在ありません」)が表示されるが、教師権限でコースに入ると、「お知らせの新規作成」というリンクが付加される(ただし、「お知らせ」は、画面幅が限られているため、極々簡単なメッセージに留められたい)。

このリンクをクリックすると以下の「お知らせ 作成画面」が表示されるので、当該コー スのメンバーに知らせたいメッセージがある場合、必須項目 (タイトル、本文) を満たして 「送信」ボタンをクリックすれば、「ようこそ画面」の「お知らせ」が即座に更新される。

WebAP	🔁 ユーザホーム		;☴ 教師メニュ		▲ 反骨の背枕[2081]	🔒 パスワードの変更	[→ ログアウト
<u>ログイン画面 > ,</u>	<u>ユーザホーム画面</u> >	<u>哲学教室</u> > お知ら	世作成画面				
			お知らせ 作成	画面			
タイトル、	本文を記入して下る	žU					
<u>タイトル (</u> 必須	Ī)						
<u>本文 (</u> 必須	Ī)						
						le	
そうしても	「宜しければ「送信」	ボタンをクリックしてく	ださい				
✔ 送信							
© 2024 - Web	AP						

図 6: 教師権限の場合の「お知らせ 作成画面」

4 教師メニュー

最上部の「教師メニュー」をクリックするとサブメニューが表示される。

WebAP 🚰ユーザホーム 😣 ユーザメニューマ	▋ 教師メニュー ▼	▲ 反骨の背枕[2081]	●パスワードの変更 [→ログアウ							
<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室</u>	■ ユーコムジャンル管理									
	📕 テスト作成	┣ ベースファイル一覧								
 <u>1-ザメニュー</u>:上部の、 <u>2</u>-ザメニューをクリックす 験」→「テスト問題一覧」、あるいは、 	┛「成績関連	╞ テスト問題一覧	→望の項目、例えば、「テスト受」 」等々を選んで下さい。							
	불 ファイル 🕨	┣ 練習問題一覧	望の項目、例えば、「テスト作							
1 注意: スマホ等、画面幅が狭い場合は、左端上 表示され、ここから例えば、「□ペローコム(YuCom)」	🔮 教材関連	🔓 テスト問題の試行数	ックすると、 <mark>==</mark> ユーザメニューが							
●その他の主たる操作(マニュアル表示関連)	▶ 一斉メール送信									
新規作成(お知らせ)	せ メンバ−関連									
表示件数:0件(お知らせは現在ありません) ≪お知らせ≫										
主題 本文		日時	役割 MID							
お知らせは現在ありません										

© 2024 - WebAP

図 7: 教師メニューをクリックしてサブメニューを展開させた画面

これらのサブメニューの中、とりわけ重要と思われるサブメニューについて、順次説明

する。

4.1 ユーコムジャンル管理

^{*}^や 忙しい現代において、ゆったりとしたコミュニケーションを実現するシステム「ユーコ ム」本体については、「ユーザ用マニュアル」である「WebAgentPlus マニュアル (ユーザ 用)」内の**サブシステム「ユーコム」の操作方法**を一読されたい。

以下は、「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」の「ユーコム (YuCom)」メ ニューをクリックした際に表示される「ユーコム」メッセージー覧画面。

グイン画 ジャンル	面 > <u>ユーザホ-</u> 全て 一般	<u>-ム画面</u> > その他	哲学教室 ページ検	<u>-</u> ニ < 索 1	LA(YuCom) 【 未読	。 ありま	ません	~							
〕 〕閲覧 〕 〕【操 〕【詳	<u>コムについて</u> : <u>記制限</u> : メッt で確認可能)。 <u>作方法】</u> 細マニュアル】0	「ユーコム」(i zージの閲覧 。 D表示関連	は、LINE が可能な <u>(</u> 表示済	のように、 このは、この みの方は	メッセージのやり Dコース(クラス)の 無視されたい)	取り)メン/	こより (一の	コミュニ! みです(r−シ: ⊀ンバ	ョンを実現 一は上部	見するシステムです。 の「ユーザメニュー」、「	メンバー	関連」、	「履修す	¥—
新規火	ッセージ作成 2: 1 ~ 3 件, >	メッセージ総	数:[3],	ページ総書	攻:[1] , <u>ページ</u>	サイス	:-[5	~	ージサイズ	更新	特別表			
					[]-:	14];	メッセ	ージー	ĩ						
主題	NO_TITLE	ジャンル	一般	作者	ユーコム花子	ID	5	返信	1	日時	24-08-16 12:34	CID	1095	No.	1
文本	「 <mark>ユーコム</mark> 」は、 慌ただしい世の中 にて、ゆったりとしたコミュニケーションを実現するためのシステムです。														
_	8		この	の女性はどなたかしら?											
	•		音導	にを聴いて	ください										
返信 修正 添付 ユーザマニュアル.pdf															
主題	RE1:NO_	TITLE ジ	ャンル・	一般们	■者 福岡太I	BI	D	7 返(5 0	日時	24-08-16 14:55	CID	1095	No.	2
本文	これは涙	言 (コメント) Tet (CNIC HIT	中国たけの	~~~	1 +	- 1.00		7+					

図 8: 「ユーコム」メッセージ一覧

コミュニケーションシステム「ユーコム」のジャンルは、教師レベルで管理(新規作成、 修正、削除等)が可能となる。

「教師メニュー」から、「ユーコムジャンル管理」を選択する。なお、「一般」、「その他」 の2つのジャンルは、管理者によりコースが作成された際に自動的に設定される。

WebAP 🛃	ザホーム <mark>に</mark> こ	-ザメニュ	■教師メニュー▼	▲ 反骨の背枕[2081] 🔒 パスワードの変更 🕞 ログアウト
ログイン画面 > ユーザホーム	<u>画面 > 哲学教</u>	<u>室</u> > ユーコムジ	ャンル管理		
			ユーコムジャン	ル管理	
新規作成					
ジャンル名	CID	CCID	OID	作成時刻	
一般	1095	-1	1	24-08-15 00:44	修正削除
その他	1095	-1	1	24-08-15 00:44	修正削除

© 2024 - WebAP

図 9: ユーコムジャンル管理

ジャンルを修正、削除する場合は、「ユーコムジャンル管理」画面内のリンクの「修正」、 「削除」をクリックする。新たなジャンルを作成する場合は、リンクの「新規作成」をク リックして、以下のような「ユーコムジャンルの新規作成画面を表示する。

	WebAP	🔁 ユーザホーム	:= ユーザメニュー •	;☴ 教師メニュー •		▲ 反骨の背枕[2081]	🔒 パスワードの変更	〔→ ログアウト
<u>ロ</u> ク	ガン画面 > ユ	<u>-ザホーム画面</u> >	<u>哲学教室</u> > ユーコム	ジャンルの新規作成				
				「ユーコムジャンルの新	「規作成」画	面		
ŀ	3 ジャンル名を	入力し、 🗸 送信	ボタンをクリックして	てください				
ジャ	マンル名							
=	⇒ジャンル名を	入力して下さい						
	/送信							

© 2024 - WebAP

図 10: ユーコムジャンルの新規作成画面

ジャンル名を入力して、「送信」ボタンをクリックすると自動的にユーコムにこのジャ ンル名が追加される。

4.2 テスト作成:サブシステム「ユーテス (YuTes)」

ユーテス(YuTes)は、テスト作成者の負担を極限にまで減らす事を目指した、高機能 テスティングシステムである。

4.2.1 特徴

このシステムの特徴は、おおよそ、

- 1. 簡易操作で、高機能のテストを作成する事が可能となる。具体的には、「超簡易版 テスト作成機能」を装備している。
- 2. サーバとの送受信はテストの骨格のみに限定しているため、ネットワークの負荷が 抑えられる。
- 3. 音声、画像、映像等のマルチメディアがワンタッチで利用可能。
- システムが自動的に配点するため、教師がテストの配点に悩む必要が無い。なお、
 特定の項目に固有の配点をする「固定配点機能」(P.54 項目 4.2.7.1.5; P.??項目??
 参照)も備わっている。
- 5. 本テスト作成システム「ユーテス」は、作成者の操作負担を極限にまで減らす事を 目指している。具体的には、原則として、「クリック選択」により主たる編集を行う 事ができ、そのために有用なボタン類を揃えている (P.53 項目 4.2.7 を参照の事)。
- 6. その他。

となろう。

4.2.2 取り扱うファイル種 (概略)

本テスティングシステム「ユーテス (YuTes)」では、3 種のファイル (「ベースファイル」、「テスト問題ファイル」、「練習問題ファイル」)を扱う。

「ベースファイル」には、一種のテンプレート (雛型) となる≪新規作成用テンプレート >>ファイルも含まれ、この「テンプレート」ファイルから各種ベースファイルを作っていく。

なお、≪新規作成用テンプレート≫ファイルには、本システム「ユーテス」で取り扱う 4 種全ての問題形式 (【選択問題 (単項)】、【選択問題 (複項)】、【選択補充問題】、【記述問 題】) の雛型が含まれている。

そして、最終的には、作成された「ベースファイル」を「テスト」に自動変換 (詳細は P.32 項目 4.2.5.3.2) する事により、テスト問題が完成する。その意味でも、「ベースファ イル」の作成・編集が最も重要な作業と言える。

4.2.3 「ユーテス (YuTes)」で作成可能なテスト問題形式 (概略)

「ユーテス」では、以下の4種の問題形式、すなわち、【選択問題 (単項)】、【選択問題 (複 項)】、【選択補充問題】、【記述問題】を装備している。

【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C.	ĥ	1	Ж	配点: 2	25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ľ		Ж	配点:2	25.00	
●			C	l lîj) (1	Ж
○			C	l lij		i i	Ж
○			C	Î	h 6	3	Ж
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	C	ĥ	1	Ж	配点:	25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ		Ж	配点:2	25.00	
✓ → 選択肢を入力してください			C	Î) (5	Ж
□			C		h 6	i i	Ж
□			C		h 6	i i	Ж
□			C	l) (5	Ж
【選択補充問題】(1-1-3) ?	C	ĥ	1	Ж	配点: 2	25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	1	Ж	配点: 2	25.00	
2			C	l	h 1	5	Ж
【記述問題】(1-1-4) ?	C.	ĥ	1	Ж	配点: 2	25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	1	Ж	配点:2	25.00	
			C	li	n 6	1	Ж

図 11:4種の問題形式

【注意】: 【選択補充問題】にのみ、背景色がオレンジの鉛筆アイコンがある事、留意願いたい。

4.2.3.1 【選択問題 (単項)】

正解を1個とする選択形式の問題であり、質問・指示文(すなわち【指示・説明等】)と 【選択肢】の内容を記述するだけで完成する(自動採点の対象)。

選択肢は 2 個以上必要であり、正解を 1 個チェックする (左端の○ボタンをクリック)。 詳細は P.25 項目 4.2.5.1 を参照されたい。

4.2.3.2 【選択問題 (複項)】

正解を1個以上とする選択形式の問題であり、質問・指示文(すなわち【指示・説明等】) と【選択肢】の内容を記述するだけで完成する(自動採点の対象)。

選択肢は 2 個以上必要であり、正解は 1 個以上チェックする (左端の□ボタンをクリック)。詳細は P.27 項目 4.2.5.2 を参照されたい。

4.2.3.3 【選択補充問題】

本システムの最も特徴的な問題形式であり、2種のサブ形式、「選択ボックス形式(ド ロップダウンリスト形式)」と「空所補充形式」、から成る。

通常、多くの手順を必要とする問題形式であるが、本システムでは、究極の省エネを意 図して、当該箇所を選択表示させ、【DDL】ボタンまたは【空所補充】ボタンをクリック するだけで完成する (自動採点の対象)。詳細は P.38 項目 4.2.6.1 を参照されたい。

4.2.3.4 【記述問題】

ユーザからの解答が記述形式のため、「自動採点」ではなく、「教師採点」となるが、当 該記述問題の得点欄をクリックするだけで、評価点を設定する事が可能。詳細は P.48 項 目 4.2.6.2 を参照されたい。

4.2.4 「ユーテス (YuTes)」の操作方法

上部の「教師メニュー」、「テスト作成」から、サブメニュー群を表示させる。



© 2024 - WebAP

図 12: 教師メニューをクリックしてサブメニューを展開させた画面 (再掲)

4.2.4.1 ベースファイルの編集に関する基本情報

テスト問題 (練習問題を含む) を作成するには、まずは、「ベースファイル」を作る必要 がある。つまり、「テスト問題」は、「ベースファイル」から、「チェック&テスト変換」 (P.32 項目 4.2.5.3.2) ボタンをクリックする事により、自動で作られるからである。

なお、ベースファイルの編集について通じているユーザは、直接、P.25 項目 4.2.5 の「編 集作業の実例 (1)」、または、P.38 項目 4.2.6 の「編集作業の実例 (2)」を参照されたい。

さて、図 12 に基づき、サブメニューから「ベースファイル一覧」を選択すると「ベー スファイル」の一覧が表示される。

Web	AP 🛃 ユーザホーム 📰 ユー	ザメニュー 👻 🍫 教師メニュー 🕇			-	反骨の背	忱[7]	🔒 パスワ-	-ドの変更	(→ ¤/
コグイン国	<u>画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教習</u>	室 > 								
1〕 元 下 1 〇 【計	<u>スト作成の流れ</u> : テストを作成する 内容を作成し、ほぼ完成した時点で <u>F成方法】</u> 詳細マニュアル】の表示関連 (表示済	るにはまず ≪ 新規作成用テンプ で、【チェック&テスト変換】機能 育みの方は無視されたい)	レート ≫を使って、【ペースフ こより、最終的に【テスト問	ァイル】を作成する 題ファイル】に自動	る必要があ 助変換しま	ります。この す。	【ペース	ファイル】で	具体的に種	重々のテ
 「ファイル編集]: ファイルの中身を編集する。 び「<u>[編集]</u>: 「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有(他のコースに複写)する。 で「<u>その他」</u> 										
ŧ示件) ≪親 <	数: 11 ~ 11 件 (全 11 件) 析規作成用テンプレート≫は最後の/ 1 2 3	ページにあります								
		[^	ースファイル一覧】画面(編	<u>集用)</u>						
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日	時
8	≪新規作成用テンプレート≫	何も編集していない	▶【ファイル編集】	▶ [編集]		3	0	4	24-08-28	8 01:21
<	1 2 3									

図 13: 「ベースファイル一覧」 画面

既述のように、「【詳細マニュアル】の表示関連 (表示済みの方は無視されたい)」に従 い、詳細マニュアル (このマニュアル) を表示つつ、ベースファイル、テスト問題等を作成 される事をお薦めする。

さて、「ベースファイル一覧」画面内には、初期状態では、システムにより作成された 一種のテンプレート (雛型)、≪新規作成用テンプレート»ファイルが1個あるのでこの ファイルを編集する。なお、≪新規作成用テンプレート»には、全ての問題形式が含まれ ている。

具体的に、《新規作成用テンプレート》ファイルの「ファイル編集」(注意:「編集」で

は無い) をクリックすると、以下のような【ベースファイルの編集】画面 (編集用) が表示 される。

WebAP 谷ユーザホーム ジョーザメニューマ 🎝 教師メニューマ	▲ 反骨の背枕[7]	🔒 パスワードの変更 🚺 ログ	ブアウト
<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 ?</u> > <u>ベースファイル一覧</u>			
【ペースファイルの編集】 画面 (編集用)		
 <u>● 主たる編集操作方法</u> <u>● 【ペースファイル作成用簡易特別マニュアル】の表示関連</u> <u>● 【詳細マニュアル】の表示関連</u> (表示済みの方は無視されたい) 			
 【パーツ表示】? 【保存・設定等の領域】? 			
別名保存 総配点: 100 点 <u>ファイル名:</u> 新規作成用テンプレート (ID=8)			
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:	25.00点)		
Ø【編集作業領域】 ? ■ ファイルの【再読込】 Ξ [ファイルー覧]へ			
【テスト問題】(1)	🕩 🛍	🚺 🛠 配点: 100.00	
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)		C 🗈 🛍 🔁 🛠	<
【問】(1-1)	 ()	100.00	
▶ →【問】の概要を入力してください(任意)		C 🗈 🛍 🔁 🛠	<
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	- C 🗈	1 25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください		1 25.00	
● 🖍 ⇒ 選択肢を入力してください		1 🕯 🕯	
○ 🖍 ⇒ 選択肢を入力してください		1 🕯 🕯	
○		1 🕯 🕯	
【選択問題(複項)】(1-1-2) <mark>?</mark>	.	1 25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C 🗎	1 25.00	
✓ → 選択肢を入力してください		🕛 🛍 🧧 🛠	
□ → 選択肢を入力してください		🕩 🛍 🖬 🛠	
□ / ⇒選択肢を入力してください		🕩 🛍 🖬 🛠	:
□ / →選択肢を入力してください		🕩 🛍 🔂 🛠	
【選択補充問題】(1-1-3) ?	(1	🚺 🛠 配点: 25.00	
	C	1 25.00	
<u>/</u>			
【記述問題】(1-1-4) ?		▲ 25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください		▲ 25.00	
- → 腔空網			

図 14: 【ベースファイルの編集】 画面 (編集用)

上部の「主たる編集操作方法」はトグルボタン形式 (クリックにより表示・非表示が切 り替わる) となっており、必要に応じて通読されたい。

同じく、「【ベースファイル作成用簡易特別マニュアル】の表示関連」では、本テスティ ングシステム「ユーテス」に不慣れなユーザに向け、ベースファイルの作成方法を詳述し た簡易特別マニュアルであり、PDF 表示されるので、是非とも閲覧願いたい。

さて、このベースファイル編集画面では、主として、【保存・設定等の領域】と【編集 作業領域】の2つの領域があり、【編集作業領域】で適宜編集してから、保存する手順と なる。

なお、四角で囲まれた「?」をクリックすると、「オンラインヘルプ」が表示されるが、 【詳細マニュアル】の表示関連から、「教師用マニュアル」(常に最新の内容を反映してい る)を参照する事をお薦めする。

4.2.4.2 ベースファイル編集の際の入力方法

本テスティングシステム「YuTes」では、2 つの入力方法 (「プレーンテキストエディタの起動」と「リッチテキストエディタの起動」) があるが、入力方法について既に通じているユーザは、編集作業の実例 (1)(P.25 項目 4.2.5) に進まれたい。

1. プレーンテキストエディタ起動:「⇒...を入力してください」の個所でダブルク リック (シングルクリックでは無い!)するとテキスト (平文) が入力可能となる。

【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	ĥ	1	X ₪	点: 25.	00
	C.	Î	1	X ₪	点: 25.0	00
● 🖍 ⇒選択肢を入力してください			C.	ĥ	7	Ж
○ 🖍 ⇒ 選択肢を入力してください			C.	ĥ	Ō	Ж
○ 🖍 ⇒選択肢を入力してください			c	ĥ	ī	Ж

図 15: プレーンテキストエディタを起動した画面

2. リッチテキストエディタ起動:文字に書式を付加する等、「ワード」のような文字 装飾等を可能とするには、鉛筆アイコン をクリックして、リッチテキストエディタ を起動する。

【選択問	問題(単項)】(1-1-1) ?	ĥ	1	8 ₽	点: 25.	00
🖍 🏏	リカの大統領選挙の投票日はどのように規定されているか。			% ₽	点: 25.0	00
0 🌶	11月の第一月曜日の翌日		C	ĥ	7	Ж
0	⇒選択肢を入力してください		C	Î	•	ж
	Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	Ē				
0.	今 ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】		_	fin	ħ	¥
07	→選択肢を入力し(くたさい					8

図 16: リッチテキストエディタを起動した画面

- 3. リッチテキストエディタ内の諸機能について:
 - (a)「Format」:文字フォントのサイズ、種類、文字色、背景色等々、指定可能。
 まずは、当該文字を反転表示させ、この「Format」ボタンをクリックして、希望の指定を選択する。
 - (b)「Edit」:リッチテキストエディタ内に入力されたデータについて編集するため、「Cut」、「Copy」、「Paste」等の機能が含まれる。

特に、リッチテキストエディタ内に入力されたデータを、部分的に削除、全 部の削除等々を実行する際には、当該データを反転表示させ、「Cut」を選択 する。

エディタ内の全てのデータを選択するには、「Edit」内の「Select all」を選択 し (反転表示される)、「Cut」を選択して削除する。なお、エディタ内の入力 データに変更・削除等があった場合には必ず【送信】をクリックして保存する 事 (P.17 項目 3d)。

- (c) 不要な機能:「Insert」と「View」は通常使う必要が無い。
- (d)【送信】:リッチテキストエディタにて入力した後、必ず、【送信】ボタンをク リックして入力内容を保存する事。
- (e)【キャンセル】:入力内容を保存せず、リッチテキストエディタを閉じる。
- (f) 【ファイル一覧】: マルチメディアファイル (ここでは、画像、音声、映像の3種のファイルに限定される)を利用するには、このボタンをクリックして、アッ

プされているマルチメディアファイルの一覧を得る。

i. マルチメディアファイルの一覧が右上に表示される。

【ベースファイルの編集】画面(ファイルリスト
 主たる編集操作方法 [クリックにより表示・非表示] 	
	 ● ファイル種: 全て ▼ 対象となるファイルが無いので、次のアイコンを クリックしてファイルを追加してください。
総配点:100点(自動採点:75.00点 教)	
ダ【編集作業領域】 ?	
【テスト問題】(1)	
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	
【問】(1-1)	
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	
▶ お示・説明等を入力してください	
● ⇒選択肢を入力してください	
Format Insert Edit View	
【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】	
今 ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】	
○	C 🕺 💼 💈 🛠
○	r in 5 %
図 17: ファイル一覧画面 (1):アップ	されたファイルが無い状態

 ii. アップされたファイルが無い状態なので、自分のパソコン等 (ローカルパ ソコン) のマルチメディアファイルをアップロードする。そのためには、 右上のファイルリストにある追加アイコンをクリックする。



図 18: 追加アイコンをクリックした状態

iii. 【ファイルの追加】の下のメッセージ「ファイル (複数可) をドラッグ&ド ロップして下さい。または...」の指示に従い、ローカルパソコン上の任意 のマルチメディアファイル (ここでは、画像、音声、映像の3種のファイ ルに限定される) をアップすると、アップされたファイルが自動的にファ イル一覧に反映する。

【ベースファイルの編集】 画面	(ファイル	レリスト			×
1 主たる編集操作方法 [クリックにより表示・非表示]						
● 【パーツ表示】?	O	イル裡: 全(<u> </u>			
《保存·設定等の領域》?	表示件	数:1~3件(全	3件)		+	
上書き保存 別名保存 チェック&テスト変換 総配点: 100 点 27-	→ Jア 1 種類	イルを選択するに ファイル名		アイル名」 作成時	をクリ 刻	ID
総配点:100点(自動採点:75.00点 教	5	Saotome.mp3	2081	24-08-18	23:39	7053
		globe- showing-	2081	24-08-18	23:39	7052
【テスト問題】(1)		americas- emoji.png				
▶ →【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	8	3-n2.png	2081	24-08-18	23:39	7051
【問】(1-1)						
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	1					
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?						
▶ ⇒指示・説明等を入力してください						
● ⇒選択肢を入力してください						
Format Insert Edit View						
⑦ (ご (DDL) (空所補充) [Table])			
○ ▶ 選択肢を入力してください			C	Î	T	Ж
○			C	Î	1	*

図 19: アップされたファイルが一覧に反映

iv. ファイル一覧からファイルをクリック選択するとリッチテキストエディタ に挿入される。



図 20: 選択されたファイルがリッチテキストエディタに反映

v. 音声ファイル:音声ファイルは、リッチテキストエディタを閉じてから、 再生可能となる。

音声ファイルアイコンをクリックすると、「ベースファイルの編集」画面 内の【パーツ表示】のすぐ上に音声再生用プレーヤーが表示され、音声 ファイルの再生が自動で開始する。

【ベースファイルの編集】 画面 (編集用)							
1 主たる編集操作方法 [クリックにより表示・非表示]							
II 0:04/3:15 🐠 : 🗙							
【パーツ表示】? 【保存・設定等の領域】?							
上書き保存 別名保存 チェック&テスト変換 総配点: 100 点 ファイル名: BF-05) (ID=	59)			
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00点)							
∮【編集作業領域】 ?? ● ファイルの【再読込】 (三【ファイル一覧]へ							
【テスト問題】(1)	c.	ĥ	T	Ж	配点:	100.0	00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)				C.	Î	T	Ж
【問】(1-1)	c.	ĥ	T	Ж	配点:	100.0	00
✔ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)				C.	Î	T	Ж
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	ĥ	T	Ж	配点:	25.0	0
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C)	ĥ	T	Ж	配点:	25.00	D
) [b	1	Ж
○			C		i i	T	Ж
○			C		h i	T	Ж

図 21: 選択された音声ファイルが【パーツ表示】のすぐ上で再生される

- (g) 【DDL】: P.40 項目 4.2.6.1.2 を参照されたい。
- (h) 【空所補充】: P.46 項目 4.2.6.1.4 を参照されたい。

4.2.4.3 問題形式、選択肢等を増やしたい場合

例えば、選択肢を現状の3つから、更に3つ増やしたい場合、いずれかの選択肢を、右端の編集用アイコンを使用して、コピー・ペースト(「編集用アイコン」の詳細については P.58 項目 4.2.7.2.3 を参照されたい)する事になる(「パーツ表示」からコピーして各種項目を増やすことも可能: P.60 項目 4.2.7.3 参照)。

具体的に、選択肢「ベルリン」の右部分の「コピー」アイコンをクリックすると以下の ように、右上に、ダイアログが表示される。

【テスト問題】(1)	ダイアログ画面(copy:97)
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	月 コビー用オプション
【問】(1-1)	● 入力された内容もコピーする
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	○ 人力された内容はコピーしない(骨格のみ)
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	OK キャンセル
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	
ボン	C 🗈 🛍 🙃 🛠
○ べルリン	C 🗈 🕯 🛠
○♪ フランクフル	C 🗈 🗴

图 22:

入力された内容 (「ベルリン」) は不要なので、「入力された内容はコピーしない (骨格のみ)」を選択して「OK] をクリックする。

【テスト問題】(1)	C	ľ.	T	Ж	配点	ī: 100.	.00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)				C	ĥ	T	Ж
【問】(1-1)	C.	ſ,	ſ	Ж	配点	i: 100.	.00
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)				C.	ĥ	1	Ж
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	ĥ	ſ	Ж	配点	i: 25.0	00
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	C.	ĥ	1	Ж	配点	ī: 25.0	0
ボン			C			T	Ж
🔿 🆍 געאא			C			T	Ж
 ○ 7∋>\$\$7\$,000 			C			T	Ж

図 23:

コピーの対象となる選択肢 (ここでは「ベルリン」) が太めの点線で囲まれる。ここで 留意すべきは、ペーストアイコンが水色に変わっている点である。これにより、水色アイ コンの項目群にのみ貼付可能という事が明示され、ファイル作成者は、どこにペースト可 能なのか、と悩む必要が無くなる。

次に、選択肢「フランクフルト」の直後に、新たに、3つの選択を作成するため、選択 肢「フランクフルト」の右部分の「ペースト」アイコンをクリックする。



図 24:

表示されたダイアログの「貼付の個数を指定」で数値3を入力する。「この項目のどこ に貼付しますか」では、「この項目の直後へ」を選択し、「OK」をクリックする。

c.	ľ	1	Ж	配 点:1	00.00
			C.	Î I	<u>a</u> %
c.	Î	î	Ж	配点:1	00.00
			C.	Î I	<u>a</u> %
C	ĥ	ſ	Ж	配点:	25.00
C	ĥ	T	Ж	配点:2	5.00
		d			x
		C			*
		C		6	i %
		d			i %
		d			*
		C		6	*

図 25:

目論見通り、選択肢「フランクフルト」の直後に、新たな選択肢が3個作成されている。 「問題形式」そのもの、指示文欄等も、同様の手順で増やす事が可能。コピーアイコン をクリックして、「OK」を選択すると、コピー対象となるデータがオレンジの枠罫線で囲 まれる。

4.2.5 編集作業の実例(1)

まず、「ベースファイルの編集に関する基本情報、操作手順等 (P.14 項目 4.2.4.1 参照)」 については、既に理解されているものとする。ここでは、ベースファイルを編集する簡単 な実例として、ベースファイル内の問題形式の増減は度外視して、そのまま、【選択問題 (単項)】と【選択問題 (複項)】の 2 つの問題形式からなるテスト問題を作成する。なお、 【選択補充問題】と【記述問題】については、P.38 項目 4.2.6 の編集作業の実例 (2) にて 取り扱う。

- 【注意1】:未入力の問題形式(ここでは残りの【選択補充問題】、【記述問題】)は、 テストに変換される際、自動削除されるので、敢えて、削除する必要は無い。むし ろ、残しておいたほうが便利と思われる。
- (注意 2): 実際のテスト (練習)問題は、オンラインではなく各自のローカルコン ピュータ (各自のパソコン)上にて、予め、質問・指示文、選択肢、問題内容等を構 想・作成し、それを本テスティングシステムにペーストする事を強くお勧めする。 例えば、「ワード」や任意のエディタで構想・作成し、これをコピー&ペーストす る。なお、「ワード」で作成した場合、コピーしたい部分を反転表示させ、「Ctrl キー」+「c」でコピーし、「Ctrl キー」+「Shift キー」+「v」で、本システム の当該箇所にペーストする。 通常、ペーストは「Ctrl キー」+「v」で実現するが、ワードの場合、飾り・書式も コピーされてしまうため、それらを除去した「平文」として、本システムにペース

トするには、「Ctrl キー」+「Shift キー」+「v」のペースト操作となる事、是 非、留意されたい。

4.2.5.1 【選択問題 (単項)】作成

まず、【選択問題 (単項)】の内容を考察する。

- 1. 質問・指示文 (「指示・説明等」):ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都) はどこですか。
- 2. 選択肢:ボン
- 3. 選択肢:ベルリン
- 4. 選択肢:フランクフルト

とする。

【注意:タイムアウトの回避】なお、「ワード」や「任意のエディタ」などで、予め、質問・ 指示文、選択肢の内容、選択補充問題の内容等を作成し、「ワード」や「任意のエディタ」 から、本テスティングシステム「YuTes」に、コピー&ペーストする事を是非ともお薦め する。

その理由は、本テスティングシステム内で、テスト問題内容を構想する場合、多くの時 間を要して、タイムアウトが生じる可能性があるからである。通常、タイムアウトまで 20 分を要するが、構想に 20 分以上かかるとタイムアウトとなり、システムのセッションが 切れ (それまでのデータが消滅する)、再ログインが必要となる。

これは、インターネットの制約に依るものであるが、時間の制約を外す意味でも、テスト問題は、ローカルレベルで、例えば、「ワード」等で作成し、これを本システムにコピー &ペーストするのが最善であろう。

ただし、繰り返しになるが、「ワード」利用での注意点は、「ワード」からコピーし、通 常のペースト方法(「Ctrl キー+ v」)で貼り付けるのではなく、ワードの書式を外した ペースト方法(「Ctrl キー+ Shift キー+ v」)を取る事、十分に留意されたい。

具体的な編集作業としては、「ベースファイルの編集画面」内の【編集作業領域】内の 【選択問題 (単項)】にて、

- 1.「⇒指示・説明等を入力してください」の個所:「ドイツの旧首都(第二次世界大戦 直後の首都)はどこですか。」と入力(またはペースト)する。
- 「⇒選択肢を入力してください」の個所:「ボン」、「ベルリン」、「フランクフルト」、 の3つをそれぞれ入力(またはペースト)し、正解部分である「ボン」の左端の○ ボタンをクリックする。

【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	Î	T	Ж	配я	높: 25.	00
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	C.	ĥ	ſ	Ж	配点	点: 25.0	00
● ▶ ポン			C		6	1	Ж
			d			1	Ж
○ 🖍 フランクフルト			C			•	Ж

図 26: 【選択問題 (単項)】を作成した画面

4.2.5.2 【選択問題 (複項)】作成

【選択問題 (単項)】同様、【選択問題 (複項)】の内容を考察する。また、考察内容は、本 システムへのオンライン状態ではなく、予め、「ワード」や任意のエディタに記述し、適 宜、「コピー&ペースト」する事を強くお勧めする。

- 1. 質問・指示文 (「指示・説明等」): 北海道内の都市を 2 つ挙げてください。
- 2. 選択肢:小樽市
- 3. 選択肢:釧路市
- 4. 選択肢:豊中市

【注意 1】「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点について は、P.26 項目 4.2.5.1 の【注意:タイムアウトの回避】を参照されたい。

具体的な編集作業としては、【編集作業領域】内の【選択問題 (複項)】にて、

- 1.「⇒指示・説明等を入力してください」の個所:「北海道内の都市を 2 つ挙げてくだ さい。」と入力(またはペースト)する。
- 「⇒選択肢を入力してください」の個所:「小樽市」、「釧路市」、「豊中市」、の 3 つ をそれぞれ入力(またはペースト)し、正解部分である「小樽市」と「釧路市」の左 端の□ボタンをクリックする。

【選択問題(複項)】(1-1	-2) ?	c.	Î		Ж	配点: 25	.00
▶ 北海道内の都市を2つ	つ挙げてください。	Ċ	Î		Ж	配点: 25.	00
✔ ✔ 小樽市				C			Ж
✔ ✔ 釧路市				C	Î		Ж
□♪ 豊中市				C	Î	1	Ж
□ / ⇒選択肢を入力	してください			C	Î		Ж

図 27: 【選択問題 (複項)】を作成した画面

【注意 2】未入力の質問・指示文 (「指示・説明等」)、未入力の選択肢、未入力の選択補充 問題等は、テストに変換される際、無視されるので、敢えて、削除する必要は無い。 【注意 3】問題形式、選択肢等を増やしたい場合は、P.22 項目 4.2.4.3 の「問題形式、選択 肢等を増やしたい場合」を参照されたい。

4.2.5.3 ファイルの保存

編集されたベースファイルを保存する。保存の種類は、【保存・設定等の領域】に置かれた、「上書き保存」、「別名保存」、「チェック&テスト変換」の3種であるが、編集中のファイルが「新規作成用テンプレート」の場合に限っては、「別名保存」のボタンのみが 表示される

その理由は、「新規作成用テンプレート」はテンプレートなので、繰り返し使用できる ように、入力内容は持たず、雛型のみを提供するためである。

さて、ここで編集されたファイルは、「新規作成用テンプレート」なので、「別名保存」 する。

4.2.5.3.1 「別名保存」の方法

1. 【保存・設定等の領域】に置かれた「別名保存」ボタンをクリックして右上に「別 名保存ダイアログ」を表示する。

【ベースファイルの編集】 画面 (編集用)	別名保存ダイアログ 🗙
① 主たる編集操作方法	
, ●【詳細マニュアル】の表示関連(表示済みの方は無視されたい)	
● 【パーツ表示】?	
 	■ファイル種
<u>別名保存</u> 総配点: 100 点 <u>ファイル名</u> : 【新規作成用テンプレート】 (ID=8)	ベースファイル
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:2	員 ファイルの説明(任意)
▶【編集作業領域】 ? ▶ ファイルの【再読込】 🗮 【ファイル-覧】	
【テスト問題】(1)	
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	
【問】(1-1)	OK キャンセル
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	[] 🚺 🔂 🛠 配点: 25.00
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	[] 1 1 1 25.00
ボン	🕩 🛍 🕱 🛠
🔿 🌶 אוויא	c 🛍 🗴 🛠
🔿 🌶 วรับกวาม	C. 🗈 💼 🎝
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	[] 1 1 25.00
▶ 北海道内の都市を2つ挙げてください。	[] 1 1 1 25.00
✔ ▶ 小燈市	r 🗎 🛍 📅 🛠

図 28: 別名保存ダイアログ

- 2. ファイル名の付け方:ファイル名の付け方は、全く自由であるが、ファイルの整理 に有効なので、以下の方針をお薦めする。
 - (a)【ベースファイル】の名前:編集された問題形式を示唆する名前が有効と思われ、例えば、「ベースファイル (sm-v01)」とする。この意味は、s(Simple:「選択問題(単項)」)、m(Multiple:「選択問題(複項)」)であり、「ベースファイル(ht-v01)」では、h(「選択補充問題」)、t(「記述問題」)を意味する。
 「選択問題(単項)」、「選択問題(複項)」、「選択補充問題」の3種の組み合わせならば、「ベースファイル(smh-v01)」となる。
 末尾の「-v01」は、複数のバージョンが考えられるため、「-v02」、「-v03」のように数値で区別する。
 この種の名前付けの方針は、あくまでも、個人の趣味の問題であって、縛られ

る必要は全く無い。

(b)【テスト問題ファイル】の名前:テスト問題ファイルの名前については、テスト名として、受験者に分かりやすい名前を付けて構わない。例えば、「英語期 末テスト」等々。

さて、「別名保存」の方法に戻り、新たなファイル名 (ここでは例として「ベース ファイル (sm-v01)」)、ファイルの説明 (「選択問題 (単項/複項) のみ」) を入力し、 「OK」ボタンをクリックする。

【ベースファイルの編集】 画面 (編集用)	別名保存ダイアログ ×						
 主たる編集操作方法 							
●【詳細マニュアル】の表示関連(表示済みの方は無視されたい)	■ ファイル名						
● 【パーツ表示】?	ベースファイル(sm-v01)						
【保存·設定等の領域】?	員 ファイル種						
別名保存 総配点: 100 点 ファイル名: 【新規作成用テンプレート】 (ID=8)	ベースファイル 🗸						
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:2	員ファイルの説明(任意)						
▶【編集作業領域】 ? ▶ ファイルの【再読込】 🗮 【ファイル一覧】ヘ	選択問題(単項/複項)のみ						
【テスト問題】(1)							
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)							
【問】(1-1)	OK キャンセル						
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)							
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	[] 🗊 🔂 🕄 配点: 25.00						
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	[] 1 1 25.00						
● ★ ボン	C 🗈 🕯 🕽						
○ ♪ ペルリン	c 🛍 🕯 🛠						
🔿 🇨 วริงกวาม	c 🛍 🖬 🛠						
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	[] 🛍 🚺 🛠 配点: 25.00						
▶ 北海道内の都市を2つ挙げてください。	[] 1 1 25.00						
✔ ▶ 小樟市	ri in 🛱 🛠						

図 29: 別名保存ダイアログ

自動的に、【ベースファイル一覧】画面 (編集用) へ戻るので、このファイル名が一 覧に登録されているか、確認する。

w	ebAP 🚹 🕹	ƒѫ−ム 🔚 ユーザメニュー、	🖌 🛟 教師メニュー 🕶	۵.	5骨の背枕[7]	🔒 パスワー	-ドの変す	更 〔→ ログアウト
コグイン	<u> 画面 > ユーザホーム</u> 運	<u>面</u> > <u>哲学教室</u> > テストf	作成 ?					
€	<u>ストを作成するには</u> :作成し、ほぼ完成し 作成 <u>方法】</u> 詳細マニュアル】の表:	: テストを作成するにはます た時点で、【チェック&テスト <u>示関連 (</u> 表示済みの方は無	"【ベースファイル】を作成 変換】機能により、最新 税されたい)	なする必要があります。 咚的に【テスト問題ファ	この【ベースファ イル】に自動変	イル】で具体 強します。	的に種々	々のテスト内容
	 【ファイル編集】: 【編集】:「ファイ 【ソーティング】:[I (ハーティング】:(ファイルの中身を編集する。 ル名」、「説明」を編集する。 D]、[ファイル名]、[種別]等、 2 (件)	,ファイルを共有(他の 白の背景色の見出し	コースに複写)する。 をクリックするとソート ^す	可能。			
1	211 (<u></u>	211)						
			【ベースファイル一覧】	画面(編集用)				
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集·削除	orgID 種類	UID	役割	作成日時
21	ベースファイル(sm- v01)	選択問題(単項/複 項)のみ	▶ 【ファイル編集】	<u>∅【編集】 削除</u>	8	3 7	4	24-08-24 23:37
8	【新規作成用テンス レート】	プ 何も編集していない	✓【ファイル編集】	▶ 【編集】		3 0	4	24-08-24 10:03
1								

図 30: 【ベースファイル一覧】画面

次に、このベースファイル「ベースファイル (sm-v01)」からテストを作成する。

3. 希望のファイル (ここでは、「ベースファイル (sm-v01)」) の【ファイル編集】をク リック選択すると「ベースファイルの編集」画面が表示される。

WebAP	🐴 ユーザホーム	: 	💠 教師メニュー 🔻	▲ 反骨の背材	[7]	● パス	ワードの	変更(◆ ログフ
【問】(1-1)					ĥ	Ō	ж	配点:10	0.00
▶ ⇒【問】の株	既要を入力してくだ	さい(任意)						Î 🚺	i %
【選択問題(基	単項)】(1-1-1)	?		C.	ĥ		Ж	配点: 25	.00
ドイツの旧	首都 (第二次世	界大戦後の首都)(はどこですか。	C	ĥ		Ж	配点: 25.	00
🔘 🧪 ボン						C	Î	1	*
	シ					C	Î	0	Ж
🔿 🇨 רפע	クフルト					C	Î	1	Ж
【選択問題(社	腹項)】(1-1-2)	?		C.	ĥ		Ж	配点: 25	.00
🖍 北海道内	内の都市を2つ挙(げてください。		Ċ	ĥ		Ж	配点: 25.	00
🗹 🖍 小樽i	市					C	Î	1	Ж
🗹 🖍 釧路i	市					C	Î	1	Ж
□ / 豊中i	市					C	Î	1	ж
□ / ⇒選打	択肢を入力してくだ	さい				C	Î	1	Ж
【選択補充問	引題】(1-1-3) <mark>?</mark>]		C	ĥ	1	Ж	配点: 25	.00
> ⇒指示・	説明等を入力して	ください		C	ĥ	T	Ж	配点: 25.	.00
1						C	ĥ	1	*
【記述問題】	(1-1-4) ?			c.	ĥ	1	Ж	配点: 25	.00
>指示·	説明等を入力して	ください		C	ĥ	1	Ж	配点: 25.	00
	欄					C	Î		*

図 31: 「ベースファイルの編集」画面

「ベースファイルの編集」画面で、さらに編集を加える事も可能であるが、ここでは、 「チェック&テスト変換」を使用して、このベースファイルをこのままテストに変換する。

変換時、テストの対象となるのは入力された部分のみであり、未入力の部分 (【選択補 充問題】、【記述問題】)、未入力の「選択肢」等々は無視されるので、そのまま残しておい て構わない (むしろ残しておいたほうが便利と思われる)。

つまり、「チェック&テスト変換」機能では、「ベースファイル」から、エラーチェック 機能と未入力部分の削除機能を働かせ、「テスト問題ファイル」を作成する。

4.2.5.3.2 「チェック&テスト変換」

1.【保存・設定等の領域】に置かれた「チェック&テスト変換」ボタンをクリックする。
テストとしての体裁を満たしているか自動チェックされ、エラーがあれば、【編集 作業領域】という表記の直下に、【★☆=以下にエラー有り=☆★】と表示され、 エラー箇所にて、エラーの内容が明示される。

【編集作業領域】? ● ファイルの(再読込] (三 (ファイルー覧)へ)	いりマエキい						
▼※=以下に12-有り=※★1: 九のアイルに戻すにはファイルの【共読込】ホタフをクリ テスト問題】(1)		ĥ	Ō	Ж	配点:	100.00	
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)				C	ĥ	1	X
問](1-1)		ĥ	T	Ж	配点:	100.00	
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)				C	Î		X
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?		Î	T	Ж	配点:	50.00	
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	C.	ĥ	•	Ж	配点:	50.00	
 ボン 			C		i i	3	K
			C		i i	3	K
○♪ עונלעלד			C		i i	3	K
(選択問題(複項)】(1-1-2) ?	C.	ĥ	T	Ж	配点:	50.00	
▶ 北海道内の都市を2つ挙げてください。	C.	ĥ	T	Ж	配点:	50.00	
★ : 正答のチェックがありません。							•••
□ ∕ 小樽市			C		i i	3	K
🗌 🇪 釧路市			C		i i	3	K
□♪ 豊中市			d			3	K

図 32: エラー表示の例

エラー箇所を修正し、「チェック&テスト変換」ボタンをクリックする (エラーが無 くなるまで繰り返す)。

なお、エラーチェックされていない元のファイルに戻すには 「**ファイルの**【再読 込】」や「**【ファイル一覧】へ**」 ボタンをクリックする。

【注意:当該問題形式を未入力状態に戻す】: エラー箇所を修正できない場合は、当該問題形式の「指示・説明等」「選択肢」等の入力データを全て削除して、未入力 状態に戻す (P.17 項目 3b 参照)。未入力状態だと、「チェック&テスト変換」の際 に無視され、エラーチェックの対象から外れる。

また、未入力状態に戻す別の方法は、鉛筆アイコンをクリックしてリッチテキスト エディタを起動し、「Edit」をクリックし、「Select all」を選択して、反転表示さ せ、「Cut」をクリックすると、当該データが削除される(Delete キーで削除して も良い)。

なお、リッチテキストエディタ内で削除等の変更をした場合は、必ず、「送信」を クリックして保存・確定する必要がある。

3. エラーがなければ、【編集作業領域】という表記の直下に、【★☆=エラー無し=☆
 ★】と表示され、同時に、右上に以下のような「保存ダイアログ」が表示される。

【保存·設定等の領域】	
上書き保存 別名保存 チェック&テスト変換 総配点: 100 点 ファイル名: 🛪	ニスファイル(sm-v01) (ID=90)
総配点:100点(自動採点:100.00点)	
∮【編集作業領域】 ?? ● ファイルの【再読込】 🗮 【ファイル一覧】へ	保存ダイアログ ×
【★☆=エラー無し=☆★】: 元のファイルに戻すには ファイルの【再読込】 ボタンをクリックして下	■ ファイル名
【テスト問題】(1)	ベースファイル(sm-v01)
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	■ ファイル種
【問】(1-1)	テスト問題
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	■ ファイルの説明(任意)
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	
▶ ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	受験開始・終了時間
 ボン 	⇒開始日時・時刻の入力
	⇒終了日時・時刻の入力 益終了
○♪ フランクフルト	
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	
▶ 北海道内の都市を2つ挙げてください。	OK キャンセル

図 33: 【保存ダイアログ】画面

4. ファイル名の入力:ファイル名にテストして相応しい名前 (ここでは、例えば、テ スト名を「意味形態論入門テスト」とする) を入力する。



図 34: 【保存ダイアログ】 画面

- 5. ファイル種:「テスト問題」が表示されている事を確認する (「練習問題」を選択す ると「テスト問題」ではなく、「練習問題」となるが、この実例では「テスト問題」 を作成する)。
- 6. 受験開始・終了時間:テスト問題は、開始時刻と終了時刻(どちらか一方でも構わない)を指定しなければ、公開されず、一般ユーザ(学生)からは見えない。指定する方法は、「開始」、「終了」をクリックしてカレンダーを起動させ、そこから、時刻を選択する。カレンダー下部の「現時刻」は現在の時刻を取得する。 なお、開始時刻と終了時刻の両方を指定する場合、当然の事ながら、「終了時刻の方が開始時刻よりも後」でなければならない。

指定後、「OK」ボタンをクリックすると、「テスト問題一覧画面 (編集用)」に移る ので、作成したテスト問題のファイル名が間違いなく登録されているかを確認す る。「テスト問題一覧画面 (編集用)」に移らない場合は、何らかのエラー (よくある エラーはタイムアウト: P.26 項目 4.2.5.1 参照) が生じている可能性がある。

【注意】この段階で、時刻を指定しなくても、「教師メニュー」、「テスト作成」、「テ スト問題一覧」から、当該テスト問題の「編集」ボタン(「ファイル編集」ボタン では無い)をクリックして時刻を設定する事も可能だが、往々にして、時刻の設定 の失念から、テストが公開されずに戸惑う、といった事を避けるためにも、この時 点で設定するのが良いかも知れない。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 ?</u>

। जु द र	テスト問題】のファイル編 る事は稀であろう。 れでも、編集を要する場 詳細マニュアル】の表示員	<u>集</u> : テスト問題は、本来、ベー 合は、以下の【 <u>テスト問題一 J連 (</u> 表示済みの方は無視され	スファイルの編集で、「 <u>に】画面</u> から、編集し たい)	チェック&テスト変換 たいテスト問題の 🧪	」により、ラ 【ファイル	・スト問題 <u>温集】</u> をク	へ変換し フリックし	ている箸 て更なる	Fなので、この段 編集を試みる。	階でこのテスト間	問題ファイルの中	□身そのものを	上編集
〕 () () 表示件	 【ファイル編集】: ファ 【海集】: 「ファイル4 「ゴワな公開時刻 【ソーティング】: [ID]、 (数: 1~5件(全7件)) 	イルの中身を編集する。 5」、「説明」を編集する。ファイル (公開開始または公開終了)を割 [ファイル名]、[種別]等、白の背 +)	を共有(他のコースは <u>&定しなければ一般ユ</u> *景色の見出しをクリッ	で複写)する。「公開 ーザからは見えない。 ロクするとソート可能。	引開始」、「 (ただし、網	公開終了 習問題[2	」、「制! は対象外	艮時間(:)	分)」 <mark>?</mark> 、「正	表」 <mark>?</mark> を編ま	裏する。		
1	2 >	.,											
-				【テスト問題一覧】	画面(編	<u>兼用)</u>							
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	意味形態論入門テ スト	入門とはいえ予備知識が必 要		∅ [編集] <u>削除</u>		1	2081	4	24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1

図 35: テスト問題一覧画面 (編集用)

4.2.5.4 動作確認のためのテスト受験

作成されたテスト問題を実際に受けて、動作を確認する。テストの受け方については、 P.64 項目 4.3 を参照されたい。

4.2.5.5 テスト問題 (練習問題も含む)の編集

「ベースファイル」を作成し、それを「テスト問題」に変換するのが通常の方法である が、「テスト問題」そのものを編集する場合もある。

4.2.5.5.1 【テスト問題一覧】の表示

「教師メニュー」、「テスト作成」から、「テスト問題一覧」を選択する。

ログイン	画面 > <u>ユーザホーム画面</u>	> 哲学教室 > テスト作成 ?]										
] () او ای ای ای	テスト問題】のファイル編 でる事は稀であろう。 れでも、編集を要する場 詳細マニュアル】の表示関	<u>集</u> : テスト問題は、本来、ベー 合は、以下の 【テスト問題一覧 同連 (表示済みの方は無視され	スファイルの編集で、「 <u>街】画面</u> から、編集し たい)	チェック&テスト変換 たいテスト問題の 🧪	」により、 7 【ファイル	スト問題 <u>■集】</u> をク	へ変換し リックし	ている筈 て更なる	らなので、この段 編集を試みる。	階でこのテスト間	問題ファイルの「	中身そのものな	E編集
	 【ファイル編集】: ファ 【編集】: 「ファイル4 (福集】: 「ファイル4 (1) (1) (1) 	イルの中身を編集する。 と」、「説明」を編集する。ファイル (公開開始または公開終了)を割 [ファイル名]、[種別]等、白の背	を共有(他のコースは な定しなければ一般ユ 景色の見出しをクリッ	「複写)する。「公開 ーザからは見えない。 ックするとソート可能。	開始」、「 (ただし、縛	公開終了 (習問題に	」、「制! は対象外	艮時間(:)	分)」 <mark>?</mark> 、「正	表」 <mark>?</mark> を編す	裏する。		
表示件	数:1~5件(全7件)											
1	2 >												
				【テスト問題一覧】	画面(編	<u> 〔用)</u>							
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	意味形態論入門テ スト	入門とはいえ予備知識が必 要	<u> // 【ファイル編集】</u>	∅ [編集] <u>削除</u>		1	2081	4	24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1

図 36: テスト問題一覧画面 (編集用)

上部の説明にあるように、【ファイル編集】、【編集】等が可能であるが、ここでは、【編 集】(「ファイル名」、「説明」、「公開開始」、「公開終了」、「制時(分)」、「正表」)について補 足するので、リンク「編集」をクリックする。なお、「制時」とは「制限時間」を意味する。

【注意】:「テスト問題」の【ファイル編集】はあまりお薦めしない。【ファイル編集】の対象は、あくまでも、「ベースファイル (≪新規作成用テンプレート≫を含む)」に限定するのが最もシンプルと思われる。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト問題の編集</u>
 ● 操作方法: 変更したい情報を適宜変更し、「保存」ボタンをクリックしてください。 ● 共有に関する操作: 以下のファイル名のファイルを共有したい場合は、共有先としたい「コース名」を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。 ● その他の主たる操作
テスト問題 の編集
ファイル名
私のテスト問題
説明
最初のテスト問題です
公開開始 クリア
2024/08/28 20:31:00
公開終了 クリア
制限時間
正表
1
]-7名
哲学教室
保存)戻る

図 37: テスト問題の編集画面

上部の説明の「その他の主たる操作」はトグル形式となっており、クリック毎に表示・ 非表示が切り替わる。とりわけ、「公開開始・公開終了」(必須:どちらか一方でも構わな い)、「制限時間」(任意)について留意されたい。

4.2.6 編集作業の実例(2)

編集作業の実例 (1) にて、【選択問題 (単項)】と【選択問題 (複項)】の実例を見たが、ここでは残りの問題形式、【選択補充問題】と【記述問題】の2種について説明する。

なお、P.25 項目 25 の「編集作業の実例 (1)」の内容については既に通読されているものとする。

4.2.6.1 【選択補充問題】の作成

【選択補充問題】は、本システムの最も特徴的な問題形式であり、以下の2種のサブ形式(「選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式:DDL形式)」と「空所補充形式」) から成る。

通常、多くの手順を必要とする問題形式であるが、本システムでは、究極の省エネを意 図して、当該箇所を反転表示させ、【DDL】ボタンまたは【空所補充】ボタンをクリック するだけで完成する (自動採点の対象)。

なお、一つの【選択補充問題】内に、2種のサブ形式(「選択ボックス形式(ドロップダ ウンリスト形式:DDL 形式)」と「空所補充形式」)が混在していても構わない。

4.2.6.1.1 選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式:DDL 形式) ≪問題の構想≫

1. 質問・指示文(「指示・説明等」):正解を選択してください

2. 選択補充問題の素材文の内容:

(1) Where are you *from*?

(2) I studied at the University of Chicago.

という2つの英文について、イタリック部分を正解とする選択問題を作成するもの とする。

英文 (1) では、「from」を正解とし、例えば、「to」、「before」を誤答とする場合、 (1a)Where are you from(to,before)?

のように、正解(「from」)の直後に、「半角括弧開き+誤答+半角括弧閉じ」とし

て、誤答を記述する。誤答は半角のコンマで複数記述が可能なので、(to,before)となる。

英文 (2) についても、同様に、誤答を例えば、「studies」、「studyed」、「studded」 とする場合、

(2a)I studied(studies, studyed, studded) at the University of Chicago.

のように、正解である「studied」の直後に、「半角括弧開き+誤答+半角括弧閉じ」 として、誤答を記述する。この場合は、3 個の誤答を設定している。

【注意1】 【選択補充問題】の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式:DDL 形式) では、正解以外、少なくとも1個の誤答を指定する必要がある。

【注意 2】「誤答」が選択されれば、得点はゼロとなるが、「誤答」ではなく、「準正 解」を設定する事も可能である。この場合は、誤答の直後に「半角コロン+半角の 得点比率」を付記する。具体的には、

(2b)I studied(studies:80,studyed,studded:30) at the University of Chicago.

とした場合、「studies」には、正解の得点の 80% が、「studded」には正解の得点 の 30% が与えられる。「studyed」には得点比率が付加されていないので、これが 選択されれば 0 点となる。

3. ワード等による問題文の作成:テスト問題の考察・構想には時間を要する場合があり、本システムにログイン状態で問題文等を考える事は避けられたい。というのも、ネットの制約上、通常、20分を超えると、自動的に接続が切れる(セッション切れ)ので、予め、「ワード」等で質問・指示文(「指示・説明等」)、選択補充問題の素材文の内容等を記述しておく事を強くお勧めする。そして、問題データをコピー&ペーストで、本システムの当該箇所に配置するのが最善であろう。

【注意 1】「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点につ いては、P.26 項目 4.2.5.1 の【注意:タイムアウトの回避】も参照されたい。

≪問題作成の手順≫

- 1. まずは、P.14 項目 4.2.4.1 の「ベースファイルの編集に関する基本情報」に従い、 ベースファイルの「新規作成用テンプレート」を表示する (無論、既存のベースファ イルでも構わない)。
- 以下の図は、【選択補充問題】の初期状態 (未入力状態) であるが、質問・指示文(指示・説明等)は、他の問題形式同様、最初の「鉛筆アイコン」欄のプロンプト文「⇒指示・説明等を入力してください」の個所に入力する (この箇所をダブルクリック)

するとプレーンテキスト入力モードとなる)。



図 38: 【選択補充問題】の初期状態 (未入力状態)

3. 質問・指示文の入力 (貼り付け): 質問・指示文 (指示・説明等) の内容は、≪問題の 構想≫で取り上げた「正解を選択してください」とする。



図 39: 質問・指示文 (指示・説明等) を入力した画面

 問題内容文の入力(貼り付け):以下、【選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式)】であれ、【空所補充形式】であれ、問題内容文については、背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックして、リッチテキストエディタを起動し、その内の「⇒ 選択補充問題を入力してください」という箇所に入力(または貼り付け)していく (P.40 項目 4.2.6.1.2 の「選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式)の問題内 容の入力」参照)。

4.2.6.1.2 選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式:DDL 形式)の問題内容の入力 既に構想された【選択補充問題】の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式)の 問題内容を再掲する。

- (1) Where are you from(to, before)?
- (2) I studied(studies, studyed, studded) at the University of Chicago.
- 問題内容の入力(貼り付け):英文(1)と英文(2)の内容を、リッチテキストエディ タ内の「⇒選択補充問題を入力してください」という箇所に入力(または貼り付け) していく。

【選	択補充問題】(1-1-3) ?	C	ĥ	T	Ж	配点	(: 25.0	00
1	正解を選択してください	C	ĥ	T	Ж	配点	(: 25.0	0
	⇒選択補充問題を入力してください			C				Ж
	Format Insert Edit View 【洋信】(★保存するには「洋信」をクリック」★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	;=	6					
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	⑦ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】	1-	-)					

図 40: 背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックし、リッチテキストエディタ起動

【選択補充問題】(1-1-3) ?	c	ĥ	Ŷ	Ж	配点	(: 25.0	00
▶ 正解を選択してください	C.	ľ,	T	Ж	配点	(: 25.0	0
(1) Where are you from(to,before)?(2) I studied(studies,studyed,studded) at the University of Chicago.			d		'n	•	*
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	≡ '	6					
∂ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】							

図 41: 選択補充問題の内容が入力された状態

2. そして、「from(to,before)」の部分を反転表示 (当該箇所にマウスポインタを置き、 右にドラッグする) させる。最後の「半角括弧閉じ」も含まれる事、留意されたい。

択補充問題】(1-1-3) ?	ĥ	T	Ж	配点	: 25.0	00
正解を選択してください この この この この この この この この この こ	Î	T	*	配点	: 25.0	0
(1) Where are you <mark>from(to,before)</mark> ? (2) I studied(studies,studyed,studded) at the University of Chicago.		C	ľ		ī	ж
Format Insert Edit View						
【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 Ξ	6					
→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】						

図 42: 当該部分を反転表示させる

3. リッチテキストエディ下部の【DDL】ボタンをクリックすると自動的に選択ボッ

クス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される。

【選	択補充問題】(1-1-3) ?	C	ĥ	T	Ж	配点	<u>.</u> : 25.0	00
1	正解を選択してください	C	ľ	ſ	Ж	配点	1: 25.0	0
	(1) Where are you [選択してください 、]? (2) I studied(studies,studyed,studded) at the University of Chicago.			C			•	*
	Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 (② 【DDL】 【空所補充】 【Table】	i= ·	5					

図 43: 選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

 fstudied(studies,studyed,studded)」の部分についても、同様の処理を施す。すな わち、「studied(studies,studyed,studded)」の部分を反転表示(当該箇所にマウス ポインタを置き、右にドラッグする)させる。最後の「半角括弧閉じ」も含まれる 事、留意されたい。

【択補充問題】(1-1-3) <mark>?</mark>	C	ĥ	ſ	Ж	配点	点: 25.	00
正解を選択してください	C	ĥ	ſ	Ж	配易	츴: 25.(00
(1) Where are you			d		Î	•	ж
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】		€)					
→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】							

図 44: 当該部分を反転表示させる

5. リッチテキストエディ下部の【DDL】ボタンをクリックすると自動的に選択ボッ クス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される。

【選択補充問題】(1-1-3) ?	Î	T	Ж	配点	त्र: 25.0	00
ご 正解を選択してください	î	T	Ж	配点	त्रः 25.0	0
(1) Where are you [選択してください ✔]? (2) I [選択してください ✔] at the University of Chicago.		C			•	ж
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 注 5						
(→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】						

図 45: 暫定の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

6.【送信】ボタンの押下を忘れずに:編集された内容を保存するためには、忘れずに、 【送信】ボタンをクリックする。リッチテキストエディタが閉じられ、最終形の選 択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式)が完成する。

【選	択補充問題】	(1-1-3) ?			C	ĥ		Ж∎	记点: 25.	00
1	正解を選択して	てください			C	ĥ	T	* 1	记点: 25.0)0
	🗲 (1) Where a	re you 選択してく	ださい	~ ?			C	ĥ	T	Ж
	(2) 選択(してください	*	at the University of Chicago.						

図 46: 最終の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

- 7. 問題内容の削除:問題内容の作成がうまくいかない場合は、以下の【リッチテキス トエディタ内に入力されたデータの消去方法】(P.43 項目 8)を参照されたい。
- 8. 誤答を準正解に変えたい場合:当該誤答の直後に「半角コロン+得点率」を付記する(上記英文(2b)P.39 参照)。

既に、リッチテキストエディタ内に入力されたデータがある場合は、これを予め、 全て消去してから、新たに入力するのが簡便と思われる。

【リッチテキストエディタ内に入力されたデータの消去方法】: リッチテキストエ ディタ内に入力されたデータを消去するには、

- (a) 部分消去:当該部分を反転表示させ、「Edit」内の「Cut」をクリックして消去。
- (b) 全体消去:「Edit」内の「Select all」をクリックして、「Cut」をクリックして
 消去。

等の方法がある。

それでも、不都合が生じる場合は、選択補充問題を「コピー」(入力された内容は

コピーしない) & 「ペースト」して、1個増やし、それから、不都合の生じている 「選択補充問題」を消去する。そうする理由は、ベースファイルのレベルでは、2個 以上の項目については削除可能であるが、1個しか存在しない項目については削除 不可としているからである。

- 9. 【制約】:本形式の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) では、選択問題 である以上、正解以外、誤答または準正解が1個以上必要となる。
- 10.【注意】:もし、操作ミス等が生じてこの形式の問題を作成できなかった場合は、上部、【編集作業領域】と表記されている所の右横の「ファイルの【再読込】」または「【ファイル一覧】へ」をクリックして更の状態に戻すのが最も簡単と思われる。 あるいは、当該問題形式について、入力されたデータを消去して、未入力状態に戻す事も可能である。その方法については、【リッチテキストエディタ内に入力されたデータの消去方法】(P.43 項目 8)を参照されたい。

4.2.6.1.3 空所補充形式 (穴埋め問題形式)

≪問題の構想≫

- 1. 質問・指示文(「指示・説明等」): 空所を補充してください
- 2. 選択補充問題の素材文の内容:選択ボックス形式の素材文を転用する。
 - (1) Where are you *from*?
 - (2) I studied at the University of Chicago.
 - という2つの英文について、イタリック部分を正解とする空所補充形式の問題を作 成するものとする。
 - 英文 (1) では、「from」を正解とする (準正解を持たない)。
 - 英文 (2) については、正解の「studied」以外に準正解 (studies:40,studyed:15) を 指定するものとする。既述のごとく、準正解の指定方法 (P.39 項目 2) は、誤答の 直後に「半角コロン+半角の得点比率」を付記する。具体的には、
 - (2a)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.
 - となる。

すなわち、「studied」が正解であり、準正解の「studies」には、正解の得点の40%が、 準正解の「studyed」には正解の得点の15%が与えられる。念のため、準正解は、 正解の直後に半角括弧開き+準正解+半角括弧閉じが付加される。

3. ワード等による問題文の作成:テスト問題の考察・構想には時間を要する場合があ

り、本システムにログイン状態で問題文等を考える事は避けられたい。というの も、ネットの制約上、通常、20分を超えると、自動的に接続が切れる (セッション 切れ)ので、予め、「ワード」等で質問・指示文 (「指示・説明等」)、選択補充問題の 素材文の内容等を記述しておく事を強くお勧めする。そして、問題データをコピー &ペーストで、本システムの当該箇所に配置するのが最善であろう。

【注意1】「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点については、P.26 項目 4.2.5.1 の【注意:タイムアウトの回避】も参照されたい。

≪問題作成の手順≫

- ベースファイルの呼び出し:まずは、P.14 項目 4.2.4.1 の「ベースファイルの編集 に関する基本情報」に従い、ベースファイルの「新規作成用テンプレート」を表示 する (無論、既存のベースファイルを選択し、これに追加する形でも構わない)。
- 未入力状態:以下の図は、【選択補充問題】の初期状態(未入力状態)であるが、「質問・指示文(指示・説明等)」は、他の問題形式同様、最初の「鉛筆アイコン」欄のプロンプト文「⇒指示・説明等を入力してください」の個所に入力する(この箇所をダブルクリックするとプレーンテキスト入力モードとなる)。なお、既述のように、入力時間を省くためにも、予め、ワード等で文案を作成し、ここから貼り付けるのが最善と思われる。



図 47: 【選択補充問題】の初期状態 (未入力状態)

3. 質問・指示文の入力(貼り付け):上記≪問題の構想≫で記したように、質問・指示 文(「指示・説明等」)として、「空所を補充してください」と入力する(または貼 り付る)。

【選択補充問題】(1-1-3) ?	c.	Î	T	Ж	配点: 25.	00
▶ 空所を補充してください	C	ľ	1	Ж	配点:25.0	00
			d			*

図 48: 質問・指示文 (指示・説明等) を入力した画面

- 4.2.6.1.4 空所補充形式の問題内容の入力
 - リッチテキストエディタの起動:「具体的な問題内容」については、鉛筆アイコン (オレンジの背景色)をクリックするとリッチテキストエディタが起動し、「→選択 補充問題を入力してください」というプロンプト文が新たに表示される。

【選	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C	ĥ	T	Ж	配。	点: 25.0	00
1	正解を選択してください	C	ľ	T	Ж	配。	点: 25.0	00
	⇒選択補充問題を入力してください			d		Î	6	Ж
	Format Insert Edit View							
	【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	Ξ	6					
	→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】							

図 49: 背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックし、リッチテキストエディタ起動

2. 問題内容文の入力(貼り付け):

「⇒選択補充問題を入力してください」の部分に問題内容文

(1)Where are you from?

(2)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.

を入力(または貼り付け)する。

【選	【択補充問題】(1-1-3) <mark>?</mark>	C	Î	î	Ж	配点	25.0	0
1	空所を補充してください	C	ĥ	î	Ж	配点:	25.0	0
	(1)Where are you from? (2)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.			ď			•	*
	Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	H	ج					

図 50: 問題文が入力された画面

3. 正解の反転表示:正解「from」を反転表示させる。

【選択補充問題】(1-1-3) ?	ĥ	T	Ж	配点	流: 25.0	00
▶ 空所を補充してください		T	Ж	配易	ᅕ: 25.0	00
(1)Where are you <mark>from</mark> ? (2)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.		d		Î	Ō	*
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 ႞Ξ	4					
→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】						

図 51: 正解「from」を反転表示した画面

4.【空所補充】ボタン:【空所補充】ボタンをクリックする。

選択補充問題】(1-1-3) ?	ĥ		Х	配点	: 25.0	00
▶ 空所を補充してください □	ĥ		Х	配点	: 25.0	0
(1)Where are you ? (2)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.		¢	li		1	*
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 注	5					
→ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】						

図 52: 【空所補充】ボタンをクリックすると「正解」が隠れ、暫定入力ボックスが表示される

同様に、英文 (2) についても、「studied(studies:40,studyed:15)」を反転表示させ、 【空所補充】ボタンをクリックする。

選択補充問題】(1-1-3) ?	C	ĥ	T	Ж	配,	点: 25.	00
▶ 空所を補充してください	C	ĥ	1	Ж	配,	流: 25.0	00
(1)Where are you ? (2)I at the University of Chicago.			d		'n	•	ж
Format Insert Edit View 【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】	Ξ	€)					
♂ ② 【DDL】 【空所補充】 【Table】							

図 53: 暫定入力ボックスが表示される

5.【送信】ボタン:【選択補充問題】空所補充形式の問題作成を終えたので、必ず【送 信】ボタンをクリックして、作成内容を保存する。

【選択	R補充問題】(1-1-3) <mark>?</mark>		C.	ĥ	T	Ж	配点: 25	.00
1	空所を補充してください		C	ĥ	T	Ж	配点:25	.00
Í	(1)Where are you	?			C		i	*
	(2)	at the University of Chicago.						

図 54: 最終形の空所補充用入力ボックスが表示される

4.2.6.2 【記述問題】の作成

「教師メニュー」、「テスト作成」、「ベースファイル一覧」を選択する。

Web.	AP	ザメニュー 👻 教師メニュ	- •		-	反骨の背材	t[7]	┓パスワード	の変更	〔→ ログアウ
コグイン画	画面 > <u>ユーザホーム</u> 画面 > <u>哲学教</u> 室	室 > テスト作成 ?								
 <u>うスト作成の流れ</u>: テストを作成するにはまず≪新規作成用テンプレート≫を使って、【ペースファイル】を作成する必要があります。この【ペースファイル】で具体的に種々のテスト内容を作成し、ほぼ完成した時点で、【チェック&テスト変換】機能により、最終的に【テスト問題ファイル】に自動変換します。 <u>【作成方法】</u> <u>「詳細マニュアル】の表示関連</u>(表示済みの方は無視されたい) 									は々のテス	
	【ファイル編集】:ファイルの中身を 【編集】:「ファイル名」、「説明」:	を編集する。 を編集する。ファイルを共有	(他のコースに複写)する。							
	UTEL .									
表示件都	<u>めに】</u> 数: 11 ~ 11 件 (全 11 件)									_
表示件對	<u>のに」</u> 数: 11 ~ 11 件 (全 11 件) f 規作成用テンプレート ≫は最後の/	ページにあります								_
表示件 3 《新 < /	<u>01167</u> 数:11~11件(全11件) 5 規作成用テンプレート ≫は最後の/ 1 2 3	ページにあります								
と示件都 3 ≪新 < /	<u>01187</u> 数: 11 ~ 11 件 (全 11 件) f 規作成用テンプレート ≫は最後の/ 1 2 3	ページにあります	【ペースファイル一覧】画面(網	<u>〔集用)</u>						
と 表示件 3 ≪ 新 く 1 D	<u>01127</u> 数: 11 ~ 11 件 (全 11 件) 新規作成用テンプレート≫は最後の/ 1 2 3 ファイル名	ページにあります 説明	【ベースファイル一覧】画面(緒 ファイル編集	<u>編集用)</u> 編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日	時
表示件 3 《新 < / /	00167 数:11 ~ 11 件 (全 11 件) が規作成用テンプレート≫は最後のパ 1 2 3 ファイル名 ≪新規作成用テンプレート≫	ページにあります 説明 何も編集していない	【ペースファイル一覧】画面(線 ファイル編集 // 【ファイル編集】	<u>編集田)</u> 編集・削除	orgID	種別	UID	役割 4	作成日 24-08-28	時 3 01:21

© 2024 - WebAP

図 55: 「ベースファイル一覧」 画面 (編集用)

【注意】希望するベースファイルが無ければ、P.14 項目 4.2.4.1 に従い、「新規作成用テン プレート」を介して、ベースファイルを作成する。

「ベースファイル一覧」画面内の希望のファイルの「**ファイル編集**」(注意:「編集」では 無い)をクリックすると、以下のような「ベースファイルの編集画面 (編集用)」が表示さ れる。

🗅 WebAP 🐴コーザホーム 🜮 ユーザメニューマ 🎝 教師メニューマ	〔骨の背材	兌[7]	רגיז 🆴	フードの変見	E (◆ ログアウ
<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 ? > ベースファイル一覧</u>						
【ベースファイルの編集】画面 (編集用)						
 <u> </u>						
 【パーツ表示】? <i>▶</i>【保存・設定等の領域】? 						
別名保存 総配点: 100 点 <u>ファイル名:</u> 新規作成用テンプレート (ID=8)						
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00,	点)					
▶【編集作業領域】 ? ● ファイルの【再読込】 (三【ファイル―覧】へ)						
【テスト問題】(1)	c	ľ		₭ 配点	: 100.	.00
▶ →【テスト問題】の概要を入力してください(任意)			0) ()	ſ	Ж
【問】(1-1)	C	ĥ	0	₭ 配点	: 100.	00
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)			C) i	ſ	Ж
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	ľ		₭ 配点	25.0	00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	1	₭ 配点	: 25.0	0
●			C	ĥ	•	*
○			0	ĥ	î	ж
○			c.	ĥ	î	Ж

【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	C	ĥ	T	Ж	配点:	25.00
→ 指示・説明等を入力してください	C	ĥ	1	Ж	配点:2	25.00
✓ → 選択肢を入力してください			C			*
□			C			*
□ 🇪 ⇒選択肢を入力してください			d			*
□			C		i i	%
【選択補充問題】(1-1-3) ?	C	ĥ	1	Ж	配点:	25.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	T	Ж	配点:2	25.00
//			C		i i	x
【記述問題】(1-1-4) ?	C	ĥ	T	Ж	配点:	25.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	T	Ж	配点:2	25.00
▶ ⇒解答欄			C			*

図 56: 「ベースファイルの編集」画面

ここで、【記述問題】の「⇒指示・説明等を入力してください」の個所で、例えば、「光 速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。」と入力する (ダブル クリックでプレーンテキスト入力モード、または鉛筆アイコンのクリックで、リッチテキ ストエディタモードとなる。

なお、リッチテキストエディタで入力した場合必ず、【送信】をクリックしてデータを 保存・確定する事)。そして、「解答欄」には、必要に応じて、模範解答を入力する (模範 解答は任意であり、教師用の備忘録に利用可能)。

編集後は、ファイル内容を保存する必要がある (新規作成用テンプレートならば「別名 保存」P.53 項目 4.2.7.1.2 を選択する)。

【注意】:ベースファイルをテストに変換する方法については、「チェック&テスト変換」 (P.53 項目 4.2.7.1.3) を参照されたい。

なお、ユーザからの解答が記述形式のため、「自動採点」ではなく、「教師採点」となる が、当該記述問題の得点欄をクリックするだけで、評価点を設定する事が可能。

4.2.6.2.1 記述問題における「教師採点」の方法

1.「教師メニュー」から、サブメニュー、「成績関連」、「成績一覧 (クラス全体)」を選 択する (P.66 項目 4.4 も参照されたい)。 【注意1】:言うまでもなく、受験者がいなければ、成績一覧には表示されない。あ くまでも、当該クラスのメンバーがテストを受験して初めて、【成績】一覧に表示 される。

【注意2】:教師採点の対象となるのは、【テスト問題】の初回受験時のみである。 2回目以降の場合、また、【練習問題】の場合は、対象とならない。

【注意3】:当該【記述問題】において、ユーザからの解答が無い場合、教師による 採点を待つまでも無く、システムが自動的に「ゼロ点」と採点する。つまり、教師 採点の対象とはならない。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 成績関連</u>

3 採点結果表示:【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルの「採点結果」をクリックする。
 6 正解表示:【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルのリンク「正解表示」をクリックする。
 6 <u>数師採点</u>: テスト問題の中に「自動採点」ではなく「教師採点」の対象となる【記述問題】が存在する場合、【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルのリンク「《正解表示(記述問題採点)》」をクリック する。【記述問題】が無ければ教師採点も不要。
 7 注意: 教師採点は、初回のテスト受験のみ可能であり、2回目以降の受験については、対象とならない。

表示件数:1~5件(全12件):白の背景色の見出しをクリックするとソート可能

1 2 3 >

	【成績】一覧画面 (<mark>教師用</mark>)										
ID	UID	氏名	FID	ファイル名	採点結果	採点結果+正答	試行	作成時刻	役割	<mark>得点情</mark> 報	
788	7	反骨の背枕	63 (ፑ スト)	BF_01_txa_02_test	<u>採点結果</u>	<u>≪正解表示(記述問題採点)≫</u>	1:(1)	12-17 01:23	5		
778	7	反骨の背枕	52 (練習)	BF_00_ex01acd	<u>採点結果</u>		2:(1)	12- 1 7 01:20	5		
758	9	ユーコム花子	61 (万 スト)	BF_txa01_test01	<u>採点結果</u>	≪正解表示(記述問題採点)≫	1:(1)	12-17 00:42	0		
754	7	反骨の背枕	61 (፫ スト)	BF_txa01_test01	<u>採点結果</u>	≪正解表示(記述問題採点)≫	1:(1)	12-16 22:36	5		
7 <mark>4</mark> 8	7	反骨の背枕	59 (練習)	ベースファイル 0 2_ex01	<u>採点結果</u>	≪正解表示(記述問題採点)≫	1:(1)	12-16 22:33	5		

図 57: 【成績】一覧画面 (教師用) 画面

任意のテスト (練習) 問題の≪正解表示 (記述問題採点) ≫ (「採点結果」では無い!)をクリックして、ユーザ解答を表示する (【記述問題】が無ければ「教師採点」も無用)。

【記述問題】(1-1-1)	配点;	100.00
光速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。	記点:	100.00
宇宙は懲張しているとされるが、この態張の速度がいずれは光速を越えるという理論がある。		

図 58: 【ユーザによる解答】

3. 配点のすぐ左横の入力欄に教師が配点以下の得点 (小数点2位まで可能) を入力し、

エンターキーを押す。エンターキーを押さなければ、有効にならない。ここでは、 例として、配点が 100 なので、91.33 を入力した。

4. 教師採点の個所の背景色が黄色になる。

【記述問題】(1-1-1)	配点: 100.00
光速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。 91.33	€ 記点: 100.00
宇宙は膨張しているとされるが、この膨張の速度がいずれは光速を越えるという理論がある。	

図 59: 【教師採点】成功画面

 5. 未採点の状態に復帰するには:配点のすぐ左横の入力欄に半角で、「-1」(マイナス 1)を入力し、エンターキーを押す。エンターキーを押さなければ、有効になら ない。

4.2.7 編集操作の軽減について

本テスト作成システム「ユーテス」は、作成者の操作負担を極限にまで減らす事を目指 している。具体的には、原則として、「クリック選択」により主たる編集を行う事ができ、 そのために有用なボタン類を揃えている。

4.2.7.1 【保存・設定等の領域】における各種機能ボタン

4.2.7.1.1 【上書き保存】

【ベースファイルの編集】 画面 (編集用) にて、編集されたファイル内容を元のファイル 名で上書・保存きする。

4.2.7.1.2 【別名保存】

【ベースファイルの編集】 画面 (編集用) にて、編集されたファイル内容を別のファイル 名で保存する。

4.2.7.1.3 【チェック&テスト変換】

編集を終えた「ベースファイル」を「テスト (練習) 問題」として公開したい場合にこ のボタンをクリックする。エラーがあれば、自動的にチェックされ、その旨、表示される (P.32 項目 4.2.5.3.2 参照)。

4.2.7.1.4 【総配点】:自動配点と固定配点

「チェック&テスト変換」のすぐ右隣の「総配点」(満点を意味する)の右横の入力欄 (デ フォルトは 100) に任意の数値 (小数点 2 位まで可能) を入力し、エンターキーを押すと、 この新たな総配点 (満点) に応じて、各問題形式の配点が自動で均等に変更される (「自動 配点」)。

仮に、総配点を 250 点として、問題形式が 8 題あった場合、各問題に均等に、31.25 点づつが自動で配点される。配点を部分的に変更したい場合は、「固定配点」(P.54 項目 4.2.7.1.5)の仕組みを利用する。

4.2.7.1.5 《固定配点の仕組み》

配点は、システムが自動で均等に割り振りする(「自動配点」)が、問題によっては、教師の望む配点(「固定配点」)としたい場合もあり得る。

 総配点 (満点)の確認:その際には、まずは、「総配点 (満点)」(P.54 項目 4.2.7.1.4 参照)がデフォルトの 100 で良いのか、再吟味し、変更したい場合は、固定配点処 理の前に、「総配点 (満点)」を適宜変更する。
 ここでは、総配点 (満点)をデフォルトのまま、「100」点に設定しているものとす る。問題数は、P.55 図 60 のように、合計 4 問とする (【選択問題 (単項)】、【選択 問題 (複項)】、【選択補充問題】、【記述問題】の 4 個)。従って、自動配点では、各 問、25 点が均等に配点される。

上書き保存 別名保存 チェック&テスト変換 総配点: 100 点 ファイル名: ペースファイル 0 0	(ID=54)
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師	採点:25.00点)
『編集作業領域』? ● ファイルの[再施込] 🔚 [ファイル―党]へ	
【テスト問題】(1)	🕩 💼 🧰 🔀 配点: 100.00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)	C 🗈 🛍 🖬 🖉
【問】(1-1)	📑 🚺 🚺 🚺 🛃 🖬
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)	🕩 🛍 🖬 🛠
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	[] 🌘 🔂 🛠 配点 25.00
▶ 成人の男性の体液は一般に体重の何パーセントですか。	[] 節 🚼 配点:25.00
● / 60パーセント	c• 🛍 🙃 🛠
○♪ 70パーセント	c 🗈 🛍 🔂 🛠
○♪ 80パーセント	🕩 🛍 🔂 🛠
○♪ ⇒ 選択肢を入力してください	🕩 🛍 🧰 🛠
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	🕩 🛍 🖬 🛠 配点: 25.00
▶ 一般に、犬にとって苦手な匂いは何か、二つ選択してください。	[] 🌘 🛅 🛠 配点:25.00
✓ タバコ	🕩 🛍 🔂 🛠
ען-בעוד 🖍	c 🗈 🛍 🖬 🛠
בעני 🖍	🕩 🛍 🔂 🛠
□ / パナナ	🕩 🛍 🖬 🛠
【選択補充問題】(1-1-3) [?]	📑 👔 🛠 配点: 25.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	🕩 🛍 🔂 🛠 配点:25.00
/	C 🗈 🛍 🙃 🛠
【記述問題】(1-1-4) ?	[] 🛍 宿 🛠 配点: 25.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	[] 🏚 宿 🛠 配点: 25.00
▶ ⇒解答欄	(† 16 ā 🛠

図 60: 総配点 (満点:100) と問題総数 (4)

- 水色の配点:その後、固定配点処理を実施するが、その際には、同一レベルの配点 を確定する必要があり、本システムでは、配点が水色で表示されている。
 っまり、水色の配点群が、同一レベルのグループであり、この中からいずれかの配 点を変更する(複数の変更が可能)とそれが固定配点となる(残りの問題形式が「自 動配点」の対象となる)。
 なお、変更可能な数値範囲は、その上、すなわち親となる項目、ここでは「【問】 (1-1)」、の配点「100」以下となる。
- 3. 固定配点処理 【選択問題 (複項)】の配点を 40 点に固定する場合:仮に【選択問題 (複項)】の現在の配点 25 点を 40 点に変更・固定したいとする。【選択問題 (複項)】

の右端の配点を「25.00」から「40」(半角の数字でなければならない)に変更して エンターキーを押す。他の問題形式は、自動的に、配点「20.00」となる。つまり、 満点の 100 から、固定配点の 40 を引くと 60 になり、自動配点対象の 3 個の問題 形式で均等割りするので、「20」となる。

上書き保存 別名保存 チェック&テスト変換 総配点: 100 点 ファイル名: ベースファイル 0 0	(ID=54)						
総配点:100点(自動採点:80.00点 教師	採点:20.00点)						
【編集作業領域】 ? ● ファイルの[再読込] □ [注[ファイル一覧]へ							
テスト問題】(1)		c.	ĥ	T	Ж	配点: 10	0.00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)					C.		i %
【問】(1-1)		c.	ĥ	T	Ж	配点: 10	0.00
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)					c.		%
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?		C	Ê	T	Ж	配点: 20	.00
▶ 成人の男性の体液は一般に体重の何パーセントですか。		C	ĥ	T	Ж	配点: 20	.00
				C		i 🖬	Ж
○ 2 70パーセント				d		h 🖬	Ж
○♪ 80パーセント				d		à 🖬	ж
○ 🖍 ⇒ 選択肢を入力してください				d		h 🖬	ж
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?		C	ĥ	1	Ж	配点:40	.00 🗘
▶ 一般に、犬にとって苦手な匂いは何か、二つ選択してください。		C	ľ	T	Ж	配点: 40	.00
🗹 🖍 9/()				C		i	*
✓ アルコール				d		i 🖬	Ж
בעע 🕼				d		à 🖬	ж
				d	1	h 🖬	ж
【選択補充問題】(1-1-3) ?		C	ĥ	T	Ж	配点: 20	0.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください		C	ĥ	T	Ж	配点: 20	.00
/				C		b	*
【記述問題】(1-1-4) ?		C	ĥ	T	Ж	配点: 20	.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください		C	ĥ	T	Ж	配点: 20	.00
▶ ⇒解答欄				C		h 📅	*

図 61: 固定配点の実例

4. リセット:

固定配点を自動配点に戻すには、「-1」を入力、エンターキーを押す。なお、「総配 点(満点)」を変更すると「固定配点」は常に自動的に「自動配点」に戻る。

【注意】:本システムの配点システムは、自動配点と固定配点の2種からなるが、ベースファイルレベルでは、「未入力の問題形式」(P.25参照)についても、自動配点の対象とな

る。つまり、P.56 図 61 に見られるように、未入力の問題形式、すなわち、【選択補充問 題】と【記述問題】にも、「20」の配点がなされている。

もし、このベースファイルから、「チェック&テスト変換」により、テスト問題を作成 する場合、未入力の問題形式は無視されるため、【選択問題 (複項)】は固定配点設定のた め「40」が、そして残りの問題形式には「60」が割り振られるが、以下の P.57 図 62 では、 残りの問題形式が 1 個のみであるため、【選択問題 (単項)】に「60」が割り振られる。

【テスト問題】(1)		1	Ж	配点	100.0	00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)			C.	Î	î	Ж
【問】(1-1)	d h	ī	Ж	配点	100.0	00
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)			C.	Î	T	Ж
【選択問題(単項)】(1-1-1)	c) 🕅	T	Ж	配点:	60.0	0
▶ 成人の男性の体液は一般に体重の何パーセントですか。	🕩 🛍	1	Ж	配点	60.00	D
● ▶ 60パーセント		C		1	ſ	Ж
○ / 70パーセント		C			ſ	Ж
○ 🖋 80パーセント		d			ſ	Ж
【選択問題(複項)】(1-1-2)	c) 🕅	Ē	Ж	配点	40.0	0
▶ 一般に、大にとって苦手な匂いは何か、二つ選択してください。	🕩 🛍	1	Ж	配点	40.00	D
✓ ▶ タバコ		C		î	1	Ж
עו−בעוד 🖍		d			T	Ж
בעני 🖍		d			1	Ж
□ ≠ /() +		d			T	ж

図 62: テスト問題の配点の実例

このように、「ベースファイル」レベルと「テスト (練習) 問題」レベルでは、配点結果 が異なり得る事、十分に留意されたい。

【注意】: なお、こうした「配点結果の相違」を避けるためには、最終的に編集された「ベー スファイル」にて、未入力の問題形式を全て削除してから、「チェック&テスト変換」を 選択する。

こうすれば、問題総数が、「ベースファイル」と「テスト (練習) 問題」の両者において、 変わらないため、自動配点、固定配点、いずれもが作成者の意図通りになると思われる。

本テスト (練習) 問題作成システム(「ユーテス」)に不慣れなユーザが「固定配点」を利 用する場合、この「削除方式」を強くお勧めする。

- 4.2.7.2 【編集作業領域】における各種機能ボタン
- 4.2.7.2.1 【ファイルの再読込】

編集前の元のファイルが読み込まれる。

4.2.7.2.2 【ファイル一覧へ】

ベースファイル一覧へ戻る。

4.2.7.2.3 【各種編集用アイコン】

各種編集用アイコンはマウスを重ねるとその機能(Copy、Pate、Trash、Cut)が表示 される。

1. 【コピー】: 当該項目(サブの項目も含む)を複写する。例えば、【選択問題 (単項)】 の最初の選択肢欄をコピーする場合、その欄の右部分のコピーアイコンをクリック すると以下の「コピー用ダイアログ画面」が表示される。

【ベースファイルの新規作成】画面 (編集用) ≪操作方法≫ <mark>?</mark>	ダイア	ログ画	面(cop	oy:82)		
 ● <u>最も簡単な方法</u> 1. そのまま何も編集しないで、上記【保存・設定等の領域】内の「新規保存」ボクンをクリックする。詳細は【保存・設定等の領域】右個の「 2. 保存後、自動的に【<u>バースファイルー管】重素(編集用</u>)に戻るので、そこで改めて編集したいファイルを選択する。 ● <u>その他の方法</u>(詳細は上記の【バースファイルの新規作成】 画面 ≪操作方法≫および【編集作業領域】 右個の「?」をクリック) 	 □ピー用オン ○ 入力された ○ 入力された 	プ ション 内容も 内容は	2 2Ľ- 2Ľ-	する	,)(骨格(のみ)
● 【パーツ表示】 ? 【保存·設定等の領域】 ? 新規保存 総配点: 100 点 <u>27.11/名</u> ; BF-00 (ID=0)			ОК	:	キャン	tu
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00点)						
●【編集作業領域】 ? ■ ファイルの【再読込】 (= [ファイル―批]へ						
【テスト問題】(1)	()	Î	1	Ж	配点:10	00.00
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)			(î î	3 %
【問】(1-1)	CP	ĥ	1	Ж	配点: 10	00.00
▶ →【問】の概要を入力してください(任意)			(î î	3 %
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?		Î	1	Ж	配点: 25	5.00
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C.	Î	T	Ж	配点: 25	5.00
● ▶ ⇒ 選択肢を入力してください			C	ĥ		*
○♪ ⇒選択肢を入力してください			c	ĥ		*
○♪ ⇒ 選択肢を入力してください			C	ĥ		*

図 63: コピー用ダイアログ画面

「入力された内容もコピーする」あるいは、「入力された内容はコピーしない (骨格

のみ)」のいずれかを選択し「OK」をクリックする。



図 64: コピー元の明示画面

コピー元がオレンジの罫線で囲まれ、かつ、ペースト(「貼付」)可能な個所のペー ストアイコンの色が水色に変わっているので、ペーストする位置に悩む必要がなく なる。

貼り付けたい水色の貼付アイコンをクリックする。

2.【貼付】:コピーされた項目を【貼付】対象の項目の上部(直前)または下部(直後)に貼り付ける。

まずは、複写したい任意の項目の「コピー編集アイコン」をクリックしてダイアロ グ起動し、貼り付けの個数を指定、貼り付けの位置を市指定して、「OK」をクリッ クすると、

【 <u>ベースファイルの新規作成】</u> 画面 (編集用) ≪操作方法≫ <mark>?</mark>		ダイアロ	コグ画面	E(pas	te:98)		
 ● <u>最も簡単な方法</u> 1. そのまま何も編集しないで、上記【保存・設定等の領域】内の「新規保存」ボタンをクリックする。詳細は【保存・設定等の領域】古横の「 2. 保存後、自動的に【<u>ハースファイルー覧】画面(編集用)</u>に戻るので、そこで改めて編集したいファイルを選択する。 ● <u>その他の方法</u>(詳細は上記の【ハースファイルの新規作成】画面 ≪ 操作方法 ≫ および【編集作業領域】 右横の「?」をクリック) 	<mark>月貼付</mark> 1	の個数を	指定(4	必須)				
◎ 【パーツ表示】?	■この	項目のと	こに服	村しま	ますか	(必須)		
	選択	して下さ	5				~	
新規保存 約100 点 2711/名; BF-00 (ID=0)								
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00点)								
ダ【編集作業領域】 [*] ● ファイルの【再読込】 [Ξ【ファイル一覧]へ								_
【テスト問題】(1)				OK		キャン	セル	
▶ ⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)							0 3	<
【問】(1-1)			fi)	1	Ж	記点:	100.00	
▶ ⇒【問】の概要を入力してください(任意)				1		Î	6 8	<
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?		C.	ĥ		Ж	配点:2	25.00	
▶ ⇒指示・説明等を入力してください		C	Î		Ж	配点:	25.00	
● ▶ 選択肢を入力してください		•••••		C		i 7	3	<
○♪ ⇒選択肢を入力してください				c		1	3	<
○♪ ⇒選択肢を入力してください				C	1	1	3	<

図 65: ペースト先の候補を水色で明示

貼付の個数を指定する欄で、その個数を指定する。通常は、1個なので「1」として

いる。

貼付の位置を、「この項目の直前へ」か「この項目の直後へ」かいずれかを選択し 「OK」をクリックすると指定した位置に指定した個数、貼付られる。

【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	C	ľ	T	Ж	配点:	25.0	0
▶ ⇒指示・説明等を入力してください	C	ĥ	1	Ж	記点:	25.00	0
● 🎤 → 選択肢を入力してください			C			1	Ж
○ 🖍 ⇒ 選択肢を入力してください			d			1	Ж
○			C			1	Ж
○			C			1	Ж

図 66: 選択肢を1 個追加した画面

重要な点は、この貼付アイコンの色が水色に変わって初めて、貼り付けが可能にな る。というのも、コピーした項目がどの項目に貼り付け可能かをユーザが迷う場合 も想定されるので、その負担を軽減するために、本システムが貼り付け可能な項目 を水色によって明示する。つまり、水色に変わった貼付アイコンを選ぶだけで貼り 付けられ、迷う必要が無くなる。

- 3. 【削除】: 当該項目(サブの項目も含む)を削除する
- 4. 【カット】:当該項目(サブの項目も含む)をカットし、それを任意の項目に貼り 付ける(貼り付けた時点で、カットされる)。

4.2.7.3 【パーツ表示】ボタン

【編集作業領域】内に、必要な項目 (各種問題形式、選択肢等) が無い場合は、パーツ表示から、コピー&ペーストする事ができる。ただし、通常、「ベースファイル」に4種全ての問題形式が残っているので、【パーツ表示】に頼らず、【編集作業領域】内の任意の項目を、右端の「編集アイコン」を使って、コピー&ペーストするのが早道であろう。

4.2.8 ファイルの共有操作

テスティングシステム「ユーテス」で作成された「ベースファイル」、そして、このベー スファイルから「チェック&テスト変換」機能により作成された「テスト問題ファイル」 (練習問題も含む) は、他のコース (クラス) と共有可能である (実際には複写される)。

4.2.8.1 ベースファイルの共有操作

1.「ベースファイル一覧」の表示:「教師メニュー」から、「テスト作成」、「ベースファ イル一覧」をクリック選択し、「ベースファイル一覧」画面を表示させる。

Web	AP	🔁 ユーザホーム	:= ユーザ	×=	💠 教師メニュー 🗸			- 1	反骨の背	枕[7]	🔒 パスワ	ードの変更	〔→ ログ
ログイン運	画面 > .	ユ <u>ーザホーム画面</u> >	<u>哲学教室</u>	> 7 76	F成 ?								
 													
・													
表示件 1 《 新 <	数: 11 ~ 新規作成 1 2	~ 11 件 (全 11 オテンプレート》(3	件) \$最後のペ-	ージにありま	ţŢ								
					[^-]	スファイル一覧】画面(編	集用)						
ID		ファイル名			説明	ファイル編集	編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日	時
8	《新	見作成用テンプレ-	- ト ≫	何も編集	していない	▲ 【ファイル編集】	▶ [編集]		3	0	4	24-08-2	8 01:21
<	1 2	3											
		4.0											

図 67: 「ベースファイル一覧」画面

 2.「編集」ボタンをクリック:他のクラスと共有したい「ファイル名」の「編集・削除」 欄の「編集」ボタンをクリックして、「ベースファイルの編集」画面を表示する。

WebAP	🔁 ユーザホーム	建 그-ザメニュ- •	🛟 教師メニュー 🗸		▲ 反骨の背枕[7]	🔒 パスワードの変更	〔→ ログアウト
ログイン	画面 > <u>ユーザホール</u>	<u>) 画面</u> > <u>哲学教室</u> >	ベースファイルの編集				
● 撮● 量	<u>作方法</u> : 変更し <u>有に関する操作</u>	たい情報を適宜変更 : 以下のファイル名の	し、「保存」ボタンをク ファイルを共有したい場	リックしてください。 合は、共有先としたい「コース名」を選択し、「保存」ボ	タンをクリックしてください。		
				ベースファイル の編集			
ファイル	名						
最初0	のペースファイル						
説明							
「選択	問題(単項)」のみ	編集した					
コース名	1						
哲学	教室						
保存	戻る						
© 2024	4 - WebAP						

図 68: 「ベースファイルの編集」画面

- 3. コース名の変更:共有先としたいコース名を選択する。
- 4. 変更を保存:「保存」ボタンをクリックする。
- 5. 注意:「共有」作業と「ファイル名」、「説明」の修正作業は両立しない。つまり、必要に応じて、まずは、「ファイル名」、「説明」を変更・保存してから、「共有」作業を進めればよい。

4.2.8.2 テスト問題ファイルの共有操作

基本的にベースファイルの共有操作と同様である (P.61 項目 4.2.8.1)。

 「テスト問題一覧」の表示:「教師メニュー」から、「テスト作成」、「テスト問題一 覧」をクリック選択し、「テスト問題一覧」画面を表示させる。

07721	1/12周回 > 1-77-4周回 > 近子衣玉 > 7.45年版 [?]													
। इ ि द ि	 ● 「<u>「スト問題」のファイル編集</u>: テスト問題は、本来、ベースファイルの編集で、「チェック&テスト変換」により、テスト問題へ変換している筈なので、この段階でこのテスト問題ファイルの中身そのものを編集 する 事は稀であろう。 ● それでも、編集を要する場合は、以下の【<u>テスト問題一覧】画面</u>から、編集したいテスト問題の <u>~【ファイル編集】</u>をクリックして更なる編集を試みる。 ● 【詳細マニュアル】の表示関連(表示済みの方は無視されたい) 													
	 3 / [ファイル提集]: 「ファイルの中身を編集する。 3 / [編集]: 「ファイルを」、「説明」を編集する。ファイルを共有(他のコースに複写)する。「公開開始」、「公開終了」、「制限時間(分)」?、「正表」? を編集する。 2 / (福集): 「辺な公開時刻(公開開始または公開終了)を設定しなければ一般ユーザからは見えない。(ただし、練習問題は対象外) 3 ◆ [ソーティング]: [ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。 													
表示件	数:1~5件(全7件	+)												
1	2 >													
				【テスト問題一覧】	画面(編	<u>兼用)</u>								
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集·削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表	
91	意味形態論入門テ スト	入門とはいえ予備知識が必 要	✓【ファイル編集】	彡 [編集] 削除		1	2081	4	24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1	

図 69: テスト問題一覧画面 (編集用)

2.「編集」ボタンをクリック:他のクラスと共有したい「ファイル名」の「編集・削除」欄の「編集」ボタンをクリックして、「テスト問題の編集」画面を表示する。

WebAP	🐴ユーザホーム	🍋 ३- मॅ४२३	🛟 教師メニュー 🗸		▲ 反骨の背枕[7]	▲ パスワードの変更	〔→ ログアウト
ログイン	画面 > <u>ユーザホー/</u>	<u>」画面 > 哲学教室</u> >	テスト問題の編集				
● 通 ● 王 で <u>そ</u>	作方法 : 変更し 有に関する操作 の他の主たる操作	したい情報を適宜変更 : 以下のファイル名の	し、「保存」ボタンをクリックして ファイルを共有したい場合は、共	ください。 有先としたい「コース名」を選択し、「保存」ボタ	ヲンをクリックしてください。		
				テスト問題 の編集			
ファイル	名						
テスト	(トロット)						
説明							
韓国(のトロットに関する	記述問題					
公開開	始	<i>クリア</i>					
2024	/08/29 19:52:00						
公開終	} 了	クリア					
制限時	門目						
正表							
1							
コース名							
哲学	教室						
保存	戻る						

図 70: テスト問題の編集画面

- 3. 共有処理: 共有先としたいコース名を選択して「保存」する。
- 注意:「共有」作業と「ファイル名」、「説明」の修正作業は両立しない。つまり、必要に応じて、まずは、「ファイル名」、「説明」を変更・保存してから、「共有」作業を進めればよい。

4.3 テスト受験

「ユーザメニュー」のサブメニューに、「テスト受験」はあるが、「教師メニュー」には 無いので留意されたい。テストを作成するのは「教師メニュー」から、テストを受けるの は、「ユーザメニュー」から、と区別されている。

4.3.1 テスト受験の手順

 テスト問題一覧の表示:「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」のサブメ ニュー「テスト受験」、「テスト問題一覧」を選択する。「教師メニュー」には、左 横に必ず「ユーザメニュー」も表示されるので、教師も、テストを受験し、動作を 確認する事が可能である。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト受験</u>

6 ≑ 6 ₹													
表示件 1	表示件数: 1 ~ 5 件 (全 7 件) 1 2 >												
		【テスト問題-	-覧】画面(受験用)										
ID	ファイル名	説明	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表						
91	▲意味形態論入門テスト	入門とはいえ予備知識が必 要	24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1						

図 71: テスト問題一覧画面 (受験用)

2. テスト問題の選択:テスト問題一覧画面 (受験用) にて、求めるテスト問題のファ イル名をクリックすると、テスト問題が展開される。 <u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > yhoasis07 > テスト受験</u>

① 受験操作:問題を解答してから、「提出」ボタンをクリックすると、自動的に、【成績一覧】画面に戻る。

【テスト問題≪テストの実験≫】」画面(受験用	i)
総配点:100点(自動採点:100.00点)	
提出	
【テスト問題】(1)	配点 100.00
【問】(1-1)	配点: 100.00
【選択問題(単項)】(1-1-1)	配点: 50.00
ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	配点:50.00
() #v	
0 10	
○ パン ○ ペルリン ○ フランクフルト	
 ○ パルリン ○ フランクフルト 【選択問題(復項)】(1-1-2) 	配点:50.00
 ○ パレ ○ ペルリン ○ フランクフルト 【選択問題(復項)】(1-1-2) 北海道内の都市を2つ挙げてください。 	配点:50.00 配点:50.00
 ○ パレ ○ パルリン ○ フランクフルト 【選択問題(復項)】(1-1-2) 北海道内の都市を2つ挙げてください。 □ 小樽市 	配点;50.00 配点;50.00
 ヘルン ヘルン ヘパルソン フランクフルト 【選択問題(複項)](1-1-2) 北海道内の都市を2つ挙げてください。 小将市 	配点;50.00 配点;50.00

© 2024 - WebAP

図 72: 展開されたテスト問題

3. 解答:適宜、解答して、「提出」ボタンをクリックする。

③ 受験操作:問題を解答してから、「提出」ボタンをクリックすると、自動的に、【成績一覧】画面に戻る。 【テスト問題≪テストの実験≫】画面 (受験用) 総配点:100点(自動採点:100.00点) 提出 【テスト問題】(1) 配点: 100.00 【問】(1-1) 配点: 100.00 【選択問題(単項)】(1-1-1) 配点: 50.00 ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。 配点: 50.00 ボン ○ フランクフルト 【選択問題(複項)】(1-1-2) 配点: 50.00 北海道内の都市を2つ挙げてください。 配点: 50.00 ✔ 小樽市 □ 釧路市 ✓ 豊中市 提出

図 73: 解答画面

4. 提出後の画面: 【成績】一覧画面 (受験者用) が表示される。

<u>ログイン画面</u>	> <u>1-ザホ-</u>	通面 > <u>yhoasis07</u>	> 成績							
 1 採点紙 1 正解表 	吉果表示 :【 <u>表示</u> :【成績	成績】一覧画面にて、 着画面にて、希望	、希望のテスト(練習 星のテスト(練習)問題	?)問題ファイルの「採点 風ファイルのリンク「正角	〔結果」をクリックする 発表示」をクリックする). 3.				
表示件数:	1~1件(含	全1件):白の背景1	色の見出しをクリック	するとソート可能						
1										
					【成績】一覧画面 (受験者用)				_
ID	UID	氏名	FID	ファイル名	採点結果	採点結果+正答	試行	作成時刻	役割	得点情報
3021	2081	反骨の背枕	41 (テスト)	テストの実験	<u>採点結果</u>	正解表示	1:(1)	08-12 15:47	4	
1										
© 2024 - V	VebAP									

図 74: 【成績】一覧画面 (受験者用)

4.4 成績関連

- 4.4.1 採点結果の確認
 - 1.「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」のサブメニュー「成績関連」、「成績 一覧」をクリックすると、【成績】一覧画面 (受験者用) が表示される。

ログイン画面 1 採点線 1 正解表	> <u>ユーザホー/</u> <u>吉果表示</u> :【 <u>長示</u> :【成績	<u>画面 > yhoasis07</u> 成績】一覧画面にて 】一覧画面にて、希望	> 成績 、希望のテスト(練習 望のテスト(練習)問題	1)問題ファイルの「採点 图ファイルのリンク「正解	結果」をクリックする 発表示」をクリックする	ο δ _α				
表示件数:	1~1件(全1件):白の背景	色の見出しをクリック	7するとソート可能						
1										
					【成績】一覧画面 (受験者用)				
ID	UID	氏名	FID	ファイル名	採点結果	採点結果+正答	試行	作成時刻	役割	得点情報
3021	2081	反骨の背枕	41 (テスト)	テストの実験	<u>採点結果</u>	正解表示	1:(1)	08-12 15:47	4	
1										

図 75: 【成績】一覧画面 (受験者用): 再掲

2. 【成績】一覧画面 (受験者用) にて、結果を知りたいテスト名の「採点結果」または 「正解表示」をクリックする。正解表示内の「!!」(背景色は赤) はそれが正解である 事を示している。 <u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > yhoasis07 > 採点結果</u>

[72]	題」画面	
総配点:100点(自動採点:100.00点)	自動採点:50.00点[50.00/100.00]	
【テスト問題】(1)		配点: 100.00
【問】(1-1)		配点: 100.00
【選択問題(単項)】(1-1-1)		配点: 50.00
ドイツの旧首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	0:50.00	配点: 50.00
ボン		
○ フランクフルト		
【選択問題(複項)】(1-1-2)		配点: 50.00
北海道内の都市を2つ挙げてください。	×:0.00	配点: 50.00
✔ 小樽市		
□ 釧路市		
✓ 豊中市		

© 2024 - WebAP

図 76: 【採点結果】表示の画面

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > yhoasis07</u> > 採点結果+正答

	総配点:100点(自動採点:100.00点)	自動採点:50.00点[50.00/100.00]		
【テスト問題	11(1)		配点:	100.00
【問】(1-1)			配点:	100.00
【選択問是	ā(単項)】(1-1-1)		配点:	50.00
ドイツの旧	首都(第二次世界大戦直後の首都)はどこですか。	0:50.00	配点:	50.00
0 !! #	ン ン			
0 ~	ルリン			
0 7	ランクフルト			
【選択問題	ē(複項)】(1-1-2)		配点:	50.00
北海道内	9の都市を2つ挙げてください。	×:0.00	配点:	50.00
🖌 !! 小	梅市			
1 3	路市			
	中市			

© 2024 - WebAP

図 77: 【正解表示】の画面

4.4.2 平均点一覧

まず、テスト問題の平均点算出の条件は、

1. 当該コース (クラス) に属する一般ユーザ (学生) の初回のテスト問題の成績のみが 平均点算出の対象となる。つまり、公式のテストは、初回受験時のテスト問題で あって、2回目以降は、任意の受験となる。練習問題は全て平均点算出の対象とは ならない。

2. 教師の場合、テストの受験は可能、成績結果の確認も可能であるが、平均点計算に は含まれず、平均点一覧にも表示されない。

となる。

さて、上部の「ユーザメニュー」のサブメニュー「成績関連」、「平均点一覧」をクリッ クすると、【平均点】一覧が表示される。

VebAP	2	-ザホ-ム 🤽	ユーザメコ	ニー 🔹 🔃 教師火	<u>-</u> 1- •		上 反	で骨の背材	t[2081]	ペスワードの変更	[→ □
ログイン	<u>画面 > ユ-</u>	-ザホーム画面 :	> <u>哲学教</u>	室 > 成績								
1	口均点表示	:【平均点】	一覧画面(の右端の「詳細」をク	フリック	すると、各項	目ごとの集計(平均点	点、平均率	四、選扔	(率)が表	示されます。	
表示件	=数: 1 ~ 2	件(全2件)):									
1												
					【平均	回点】一覧画	面面					
10	7-7夕	ファイル名	FileID	CV	配点	得点集計	平均点	解答者	正誤	受験者	変更時刻	
ID		27 IV H										
1104	哲学教室	テストの実験	62	【☆自動採点☆】	100	50	平均点:50.00点	1	1	1	08-19 00:40	詳細
1104 1054	哲学教室 哲学教室	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100 100	50 150	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1 2	1	1 2	08-19 00:40 08-14 23:56	<u>詳細</u> <u>詳細</u>
1104 1054	哲学教室 哲学教室	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100 100	50 150	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1 2	1	1 2	08-19 00:40 08-14 23:56	<u>詳細</u> 詳細
1104 1054	哲学教室	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100 100	50 150	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1	1	1	08-19 00:40 08-14 23:56	<u>詳細</u> <u>詳細</u>
1104 1054	哲学教室 哲学教室	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100	50 150	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1	1	1	08-19 00:40 08-14 23:56	詳細
1104 1054	哲学教室	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100	50	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1 2	1	1	08-19 00:40 08-14 23:56	<u>詳細</u> <u>詳細</u>
1104 1054 1 © 202	哲学教室 哲学教室 4 - WebAF	テストの実験 MyTest	62 49	【☆自動採点☆】 【☆自動採点☆】	100	50	平均点:50.00点 平均点:75.00点	1	1	1 2	08-19 00:40 08-14 23:56	<u>詳細</u> <u>詳細</u>

図 78: 【平均点一覧】画面

平均点一覧の右端の「詳細」をクリックすると、平均点のみならず、各問題形式の詳細 に渡る分析結果を示す。

ただし、受験者が1名しかいなければ、平均点算出の意味はないが、受験者が増えるた びに、リアルタイムで平均点が算出・表示される。
1 詳細表示:「平均点」、「平均率」、「選択率」が表示されます。ただし、複数の受験者がいないければあまり意味が無い。											
表示件数: 1 ~ 9 件 (全 9 件):											
1											
					ि जर । (ज	占]_腔面	5				
	7 74	7-11-0	E ¹ ID		[平均			471 647 +4			~~ 프 마 수비
ID	コーズ名	ファイル名	FileID	CV	配点	侍只朱計	平均点	醉 合有	止誤	安 練者	发史時刻
1104	哲学教室	テストの実験	62	【☆自動採点☆】	100	50	平均点:50.00点	1	1	1	08-19 00:40
1096	哲学教室	テストの実験	62	【選択問題(単項)】	50	0		1	1	1	08-19 00:40
1097	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	50	0	選択率:0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40
1098	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率:0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40
1099	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率:100.00% (1/1)	1	1	1	08-19 00:40
1100	哲学教室	テストの実験	62	【選択問題(複項)】	50	50	平均率:100.00%	1	0	1	08-19 00:40
1101	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	25	25	選択率:100.00% (1/1)	1	0	1	08-19 00:40
1102	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	25	25	選択率:100.00% (1/1)	1	0	1	08-19 00:40
	哲堂教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率:0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40

図 79: 【平均点一覧:詳細】

4.5 教材関連

「教材メニュー」から、「教材関連」、「教材一覧」を選択し、【教材一覧】 画面を表示する。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 教材関連</u>

● 数材閲覧: 以下の【数材一覧】画面にて、閲覧またはダウンロードしたいファイル名をクリックしてください。
 ● 数材のアップロード: 以下のリンク【 新規数材登録】をクリックして、数材ファイル(通常はPDFファイル)をアップロードして下さい。
 ● 共有: 数材を他のコースと共有したい場合は、【編集】をクリックして「数材情報の編集」画面を表示させ、下部の「コースID(CourseID)」から、共有したいコース(クラス)を選択し、「保存」して下さい。
 ● 注意: 公開日の設定されていない数材は、ユーザから閲覧できません。「公開日」の設定は【編集】ボタンから可能です。
 表示件数: 1 ~ 1 件 (全 1 件):

🏡 新規教材登録 (次の「見出し行」で、白の背景色の「見出し」をクリックするとソート可能)

【教材一覧】画面											
カテゴリー	教材名	概要	コース名	曜日	時限	作成者名	ファイル名	ソート	公開日	作成時刻	
Others	世界教養概論	真の教養とは?	哲学教室 [7]		(反骨の背枕	世界教養概論.pdf	0	24-08-	24-08-30	<u>編集 削除</u>
						[7]			30 01:06	01:08	



4.5.1 ファイル名

【教材一覧】画面で、ファイル名をクリックすると、そのファイルが PDF ファイルの場合、直接、その内容が表示される。PDF ファイルでない場合は、自動的にダウンロードが開始される。

4.5.2 【編集】

「公開日」が設定されていない教材は、ユーザから閲覧できないので、【編集】ボタンを クリックして、適宜、「公開日」を設定する。

	教材情報()編集	
教材名			
英文棒			
カテゴリー			
英語文法			
概要			
No Title			
公開日			
2024/07/22 8:55:00			
作成者名			
反骨の背枕[2081]			
<u>ファイル名</u>			
WebAP_Manual_User_24_03	1.pdf		
付記			
アクティブ			
2 V-ト			
 曜日			
哇限			
AT BA			
CourselD			
yhoasis07			

図 81: 【教材情報編集】画面】

4.5.3 削除

当該教材ファイルを削除する。

4.5.4 新規教材登録

教材をアップロードしたい場合は、リンクの「新規教材登録」をクリックする。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 新規教材登録</u>

新規教材登録
登録操作 以下の項目(必須項目は「教材名」のみ。「*」で明示)を満たして、下部の「教材ファイルアップロード」をクリックすると、【ファイルの追加】画面が表示されます。ここに任意の教材ファイルをアップロードして下さい。
教材名*
カテゴリー
英語文法
概要
<u>公開日</u> *下の枠内をクリックするとカレンダーが起動します
時限
教材ファイルアップロード

図 82: 【新規教材登録】画面

適宜、必要な項目を入力してから、「教材アップロード」ボタンをクリックして、任意 の教材ファイルをアップロードする。

【教材一覧】画面に戻るので、その一覧に今アップした教材ファイルが掲載されている か、確認する。 <u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 教材関連</u>

🏡 新規教材登録 (次の「見出し行」で、白の背景色の「見出し」をクリックするとソート可能)

	【教材一覧】画面										
カテゴリー	教材名	概要	コース名	曜日	時限	作成者名	ファイル名	ソート	公開日	作成時刻	
EngGramm	英文法概論	No Title	哲学教室 [7]			反骨の背枕 [7]	英文法概論.pdf	0	24-08- 30 01:15	24-08-30 01:15	<u>編集 削除</u>
Others	世界教養概論	真の教養とは?	哲学教室 [7]			反骨の背枕 [7]	世界教養概論.pdf	0	24-08- 30 01:06	24-08-30 01:08	<u>編集 削除</u>

図 83: 【教材一覧】画面

【注意】:教材ファイルの「共有」については、【教材一覧】画面上部の「共有」に関する 説明を読まれたい。

4.6 一斉メール送信

これは便利な機能と思われるので是非利活用されたい。具体的には、ネット授業でのク ラス、小さな研究会、学会等において、メンバー全員に一斉にメールを送信する必要性 が少なからず存在する。その際、送信先アドレスに間違いがないか、変わっていないか 等々、教師等の世話役は常に留意する事になろう (以下、「メールアドレスの管理等」P.76 項目 4.6.3 を参照されたい)。

この負担の多くは本システムによって肩代わりされ得る。本システムでは、送信先の 個々のメールアドレスは、システムが把握しており、最新のアドレスを漏れなく提示して くれる。

4.6.1 「一斉メール送信」の選択

最上部の「教師メニュー」から、「一斉メール送信」を選択する。

<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 一斉メール送信</u>

-	一斉メール送信										
 主題 添付 選択 送信 が、道 	 ① 主題、本文の入力: 作成したいメールの主題と本文を入力して下さい ※(イファイルの選択: メールにファイルを添付したい場合は、「ファイル一覧」をクリックし、表示されたファイル一覧から、希望のファイル名をクリック 選択して下さい。希望のファイルが無い場合は、「ファイルの追加」をクリックして下さい。 ※(信先の除外: 通常、下部の「メンバーのアドレス情報」一覧に示されているメンバー全員(当該コースの全メンバー)に一斉メール送信されます が、送信対象から除外したいアドレスがある場合は、左端の「除外」チェックボックスにチェックを入れて下さい ※(信) ごをついまでは、 										
メールの主	メールの主題										
⇒×-110	⇒メールの主題を入力して下さい										
メールの本:	└────────────────────────────────────										
⇒メールの本文を入力して下さい											
添付ファイ	し名 📔 ファイル										
⇒「ファイ	ルー覧」から任	意のファイルを選択して下さい									
✓ 一斉;	送信										
			メンバーのアドレス情	報							
除外	UID	メールアドレス	氏名	ユーザ名	クラスID	役割					
	2081	@softbank.ne.jp	反骨の背枕:[2081]	@softbank.ne.jp	1095	GeneralTeacher					
	23	@gmail.com	ユーコム花子:[23]	⊉gmail.com	1095	GeneralUser					
	2109	@cm ac.jp	福岡太郎:[2109]	niemand@ddj.fuku-u.ac.jp	1095	GeneralUser					
	2114	@ u.ac.jp	桐生悠々:[2114]	kiryu@cmc.ho.ac.jp	1095	GeneralTeacher					

図 84: 一斉メール送信用メール作成画面

「メールの主題」と「メールの本文」を記入し、メールに添付したいファイルがある場 合は、「添付ファイル名」右横の「ファイル一覧」をクリックして添付用「ファイル一覧 ダイアログ」を表示させ、希望のファイル名をクリック選択する。

希望するファイルが無ければ、「ファイルの追加」ボタンをクリックして、ローカルパ ソコンから、任意のファイルをアップロードすると、自動的にこの一覧のトップに表示さ れるので、ここから任意のファイル名をクリック選択する。

■ WebAP	☷ 教師メニュー	-	反骨の背	『枕[2081] 🔒 パスワ-	ドの変見	更 [→ □/	ブアウト
<u>ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 一斉メ</u>	ール送信			ファイル一覧ダイア	7ログ(5))	×
 <u>1 主題、本文の入力</u>:作成したいメールの主題と本: <u>1 添付ファイルの選択</u>:メールにファイルを添付したい: 選択して下さい。希望のファイルが無い場合は、「フ <u>1 送信先の除外</u>:通常、下部の「メンバーのアドレス が、送信対象から除外したいアドレスがある場合は、 <u>1 送信</u>:全ての準備が整ったら、「送信」ボタンをクリ 	ー斉メー 文を入力して下さい 場合は、「ファイルー ァイルの追加」をクリ 情報」一覧に示され 、左端の「除外」チェ リックして「一斉送信	ル送信 -覧」をクリック「 リックして下さい いているメンバー: ックボックスにう 」を実行して下	 ● ファ 表示件 → ファ 1 	マイル種: (全て 数: 1 ~ 3 件 (全 3 件) マイルを選択するには「フ	し マイル	▼	ック
メールの主題 ⇒メールの主題を入力して下さい メールの本文			種類 ♪	ファイル名 Saotome.mp3 globe-showing- americas-emoji.png	UID 2081 2081	作成時刻 24-08-18 23:39 24-08-18 23:39	ID 7053 7052
⇒ メールの本文を入力して下さい <u>添付ファイル名</u> ● ファイル一覧 ⇒「ファイル一覧」から任意のファイルを選択して下さい			8	3-n2.png	2081	24-08-18 23:39	7051
✓ 一斉送信	メンバーのア	ドレス情報					
除外 UID メールアドレス	氏名	ユーザ					

図 85: 一斉メール送信用メール作成画面:添付ファイル用ファイルリスト一覧の表示

必要事項を満たしたら、「一斉送信」ボタンをクリックして一斉送信する。

4.6.2 送信先メールアドレスの選択

本来、「一斉メール送信」では、当該コースに登録されているメンバー全員の最新アド レスに、ここで作成されたメールが送信されるが、時々の事情に応じて、一時的に送信先 から外したいアドレスも生じ得る。

その際には、当該コースに属する全メンバーのアドレスを表示している「メンバーのア ドレス情報」一覧から、除外したいアドレスの左端のチェックボックスにチェックを入れ てから、「一斉送信」ボタンをクリックする。

			一斉メール送信	i i						
 主題 添付 選択 送信 が、逆 送信 	 ま語、本文の入力: 作成したいメールの主題と本文を入力して下さい ※付ファイルの選択: メールにファイルを添付したい場合は、「ファイルー覧」をクリックし、表示されたファイル一覧から、希望のファイル名をクリック 選択して下さい。希望のファイルが無い場合は、「ファイルの追加」をクリックして下さい。 ※信先の除外: 通常、下部の「メンバーのアドレス情報」一覧に示されているメンバー全員(当該コースの全メンバー)に一斉メール送信されます が、送信対象から除外したいアドレスがある場合は、左端の「除外」チェックボックスにチェックを入れて下さい ※近信: 全ての準備が整ったら、「送信」ボタンをクリックして「一斉送信」を実行して下さい 									
メールの主題	メールの主題									
⇒×-ル0)主題を入力し	、て下さい								
メールの本ス	文									
⇒X-110	⇒メールの本文を入力して下さい									
添付ファイル	<u>添付ファイル名</u> () ファイル一覧									
⇒「ファイ	ルー覧」から住	E意のファイルを選択して下さい								
✓ 一斉;	送信									
			メンバーのアドレス情	報						
除外	UID	メールアドレス	氏名	ユーザ名	クラスID	役割				
	2081	@softbank.ne.jp	反骨の背枕:[2081]	@softbank.ne.jp	1095	GeneralTeacher				
	23	@gmail.com	ユーコム花子:[23]	@gmail.com	1095	GeneralUser				
	2109	@cn u.ac.jp	福岡太郎:[2109]	niemand@ddj.fuku-u.ac.jp	1095	GeneralUser				
	2114	@ u.ac.jp	桐生悠々:[2114]	kiryu@cmc.ho.ac.jp	1095	GeneralTeacher				

図 86: 一斉メール送信用メール作成画面

〇注意:「メールアドレス情報」の「除外」欄にチェックの入ったメールアドレスには、 メール送信されない点留意されたい。

4.6.3 メールアドレスの管理等

ネットの時代、メールのアドレスは、本人が直接変更するか、あるいは、教師等の世話 役を介して、変更可能としておくのが良いと思われる。具体的にどのように実装するか は、以下のような方針が考えられよう。

- 方針1:本人がいつでもメールアドレスを自由に変更できるが、変更した場合、誰がいつどのアドレスに変更したのか、新旧アドレスを含めて、教師等の世話役に自動でメール通知する。
- 2. 方針2:本システムの「ユーザメニュー」の「環境設定」サブメニューに、「アドレ ス変更依頼」サブサブメニューを追加し、ユーザがこれを選択すると、変更画面が

表示される。

ここで、ユーザが新たなメールアドレスを記入して、「変更申請」ボタンをクリッ クすると、その旨、新旧アドレスを含めて、世話役等に自動でメール通知される。 これを受け、世話役等は、「教師メニュー」から、新たに設けられた「アドレス変更 確認」サブメニューをクリックして、「アドレス変更確認」画面を表示する。この画 面ではアドレスを変更したいユーザの記録(新旧メールアドレス等)が明示され、 問題がなければ、世話役が「承認」ボタンをクリックする、といった流れとなろう。

3. その他の方針:アイディア次第で、教師等の世話役の負担を極限にまで減らす事が 可能となろう。

等々の利便性を考慮した方針を実装する事が可能である。例えば、方針2ならば、新規ア ドレスを記入するのはユーザ本人の責任であり、世話役等は「承認」ボタンで承認するの み、となり、世話役の手間暇が省けるとともに、変更された新アドレスは、システムが間 違いなく自動でデータベースに保持する事になる。アドレス管理の半自動化である。

4.7 メンバー関連

4.7.1 入退室一覧

「入退室一覧」については、当該コース (クラス) に入退室したメンバーの記録である。

WebAP		↓ 🔁 ユーザメニュー 🕶 教師メニュー 🕶	▲ 反骨の背枕[2081]	▲パスワードの変更 [→ ログアウ								
<u> ログイン画面</u> >	> <u>ユーザホーム画面</u>	> <u>哲学教室</u> > <mark>メンバー関連</mark>										
表示件数: 1	表示件数: 1 ~ 5 件 (全 267 件): 白の背景色の見出しをクリックするとソート可能											
1 2 3	3 4 5 6	7 8 9 10 > >>										
	【入退室】一覧											
AID	コース名	ユーザ名 [ID]	入出時刻	退出時刻								
25741	哲学教室	ಿsoftbank.ne.jp [2081]	24-08-19 01:49	24-08-19 01:49								
25740	哲学教室		24-08-19 01:37	24-08-19 01:49								
25739	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:49	24-08-19 01:17								
25738	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:32	24-08-19 00:49								
25737	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:00	24-08-19 00:31								
1 2 3	3 4 5 6	7 8 9 10 > >>										

図 87: 【入退室一覧】画面

4.7.2 履修者一覧 (コース内のメンバーの役割変更)

当該コース (クラス) を履修した全ユーザの一覧である。

WebAP 谷 ユーザホ	ーム 🍋 ユーザメニュー 🔹 教師メニ	•	反骨の背枕[2081]	🔒 パスワードの変更	[→ □∅					
<u>ログイン画面</u> > <u>ユーザホーム画</u>	面 > <u>哲学教室</u> > メンバー関連									
 										
新規履修登録										
【履修者】一覧										
氏名	ユーザ名	役割	コース名	曜日時限						
反骨の背枕:[2081]	@softbank.ne.jp	GeneralTeacher	哲学教室 [1095]		<u>編集</u>					
ユーコム花子:[23]		GeneralUser	哲学教室 [1095]		<u>編集</u>					
福岡太郎:[2109]	@ddj.fuku-u.ac.jp	GeneralTA	哲学教室 [1095]		<u>編集</u>					
桐生悠々:[2114]	@cn ac.jp	GeneralUser	哲学教室 [1095]		<u>編集</u>					
東北次郎:[2110]	jemand@google.tohoku.jp	GeneralUser	哲学教室 [1095]		<u>編集</u>					

図 88: 【履修者一覧】画面

右端のリンク「編集」により、メンバーの役割を変更可能。

WebAP	쉼 ユーザホーム	:= ユーザメニュー •	💠 教師メニュー 🕶		▲ 反骨の背枕[2081]	🔒 パスワードの変更	〔→ ログアウト
<u> ログイン画面</u> >	ユーザホーム画面 >	· <u>哲学教室</u> > 履修	登録の編集				
1 役割の変	更操作:「役割」加	から任意の役割を選拔	₹して「保存」する。なお	、「CourseID	(コース名)」、「UserID(ユー	ザ名)」は変えない事。	
			履修登録(D編集			
CourseID							
哲学教室							
UserID							
yhoasis07@	softbank.ne.jp						
役割							
一般教師							
保存戻	3						

© 2024 - WebAP

図 89: 【編集】画面

【履修者一覧】画面で、「新規履修登録」をクリックすると、「新規履修登録」画面が表

示されるので、適宜、必要に応じて、メンバーを追加する。

WebAP	🔁 ユーザホーム	וב אשרב י	;≣ 教師メニュー ▼		▲ 反骨の背枕[2081]	🔒 パスワードの変更	〔→ ログアウト			
<u>ログイン画面 > </u>	ユーザホーム画面 >	<u>哲学教室</u> > 新規閣	修登録							
●新規履修登録操作:「UserID(ユーザ名)」と「役割」を選択して「保存」する。なお、「CourseID(ユース名)」は変えない事。										
	新規履修登録									
CourseID										
哲学教室										
UserID										
kiryu@cmc.h	io.ac.jp									
役割										
保存 戻る										
© 2024 - Web	AP									

図 90: 【新規履修登録】 画面

5 パワー教師

コース (クラス) の役割がパワー教師の場合、「教師メニュー」の末尾に「パワー教師」 メニューが付加される。

WebAP	💠 教師メニュー 🗸	▲ 反骨の背枕[7]	🔒 パスワードの変	更 [+ログアウ
<u> ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室</u>	■ ユーコムジャンル管理			
3 <u>ユーザメニュー</u> :上部の = ユーザメニューをクリック 験」→「テスト問題一覧」、あるいは、コミュニケーシ	■ テスト作成	 :すので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト受 n)」、「教材関連」、「成績関連」等々を選んで下さい。 :すので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト作 -メニュー」 が表示されますので、これをクリックすると、 := ユ '。 		
	人 成績関連			
	ト ファイル			
③ 画面幅が狭い場合:スマホ等、画面幅が狭い -ザメニューが表示され、ここから例えば、「1001-1-	✤ 教材関連			
●【詳細マニュアル】の表示関連	▶ 一斉メール送信			
新規作成(お知らせ)	** メンバー関連			
表示件数: 0件(お知らせは現在ありません)	🏖 ! パワー教師 !	💼 (お試し版)ユーザの消去]	
主題 本文		日時	役割	MID
	お知らせは現在ありませ	Ь		

図 91: 【パワー教師】のメニュー画面

5.1 (お試し版)ユーザの消去

お試し版ユーザの登録をすると、本人 (メインユーザ:パワー教師の役割付与) 以外、10 個のサブユーザ (一般ユーザ:学生の役割付与) が自動で作成される (クラス登録、履修登 録、ユーザ登録も自動処理される)。ただ、お試し版を検証後、お試し版ユーザ関連の情 報を全て、消去したい場合、このメニューをクリックする。これにより、再度、お試し版 ユーザ登録も可能となる。